

令和 7 年度

学校推薦型選抜学生募集要項

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

人 文 社 会 科 学 部
地 域 教 育 文 化 学 部
理 学 部
工 学 部 昼 間 コ ー ス
工学部フレックスコース
農 学 部
社 会 共 創 デ ジ タ ル 学 環

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

人 文 社 会 科 学 部
地 域 教 育 文 化 学 部
医 学 部



新型コロナウイルス感染症への対応に関するお知らせ

入学者選抜における出願書類について

【調査書について】

新型コロナウイルス感染症の影響による高等学校等の臨時休業により、出席日数・特別活動の記録・指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

また、授業日数、出席停止・忌引き等の日数、オンラインを活用した特例の授業の参加日数等の記載の有無によって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

【推薦書について】

新型コロナウイルス感染症の影響により、高等学校等における部活動等の諸活動や大会、資格・検定試験等に参加できず、実績や結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることはありません。

推薦書等にこれらの活動について記載する場合、入学志願者の成果獲得に向けた努力のプロセス等についても記載してください。

医学部医学科の入学生定員及び募集人員について

医学部医学科では、文部科学省及び厚生労働省からの「令和7年度医学部臨時定員増に関する意向調査」において、臨時定員増の申請を検討中です。

現在の同学科の入学生定員及び各選抜の募集人員については、本要項17ページに記載のとおりですが、申請の結果については、決定次第、本学ホームページでお知らせします。

マイナンバーカードを活用した取り組みについて

本学では、学生サービスの向上を図るため、デジタルキャンパス化を推進しております。その一環として、文部科学省の助成を受け、マイナンバーカードを活用した各種サービスを提供しています。

詳細は、合格通知の際にお知らせしますので、マイナンバーカードの取得について、ご協力のほど、よろしくお願いします。

自然災害等により被災された 山形大学学部等入学志願者の検定料の免除について

山形大学（以下「本学」という。）では、東日本大震災、令和6年能登半島地震及び令和6年4月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和7年度学部等入学者選抜試験に係る検定料について、次のとおり免除の特別措置を講じます。

1 免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する令和7年度学部等入学者選抜試験（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人入試及び私費外国人留学生入試）を対象とします。

2 対象者

令和7年4月に本学の学部等に入学を志願する方で、東日本大震災、令和6年能登半島地震及び令和6年4月以降発生した自然災害等により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 入学志願者の学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が自然災害等に際して災害救助法の適用された区域に居住し、家屋（持家に限る）が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
- (2) 学資負担者が自然災害等により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が自然災害等により失職し、出願時まで引き続き無職の者
- (4) 福島第一原子力発電所の事故の際に、帰還困難区域（申請時点で指定されている区域）に居住していた者

3 本件に関する申請方法等

申請期限は出願期間前になりますのでご注意ください。

詳細は、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

<https://www.yamagata-u.ac.jp>

お問合せ先：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課 TEL (023) 628-4141

生成AIの利用について

山形大学では、学生に対して、ChatGPTなどの生成AIに関する注意喚起を行っています。入学試験に際しては、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いいたします。

なお、留学生の皆さんは、下記注意事項の他、必要に応じて各国・地域の法令等も踏まえるようお願いいたします。

注 意 事 項

生成AIに入力した情報は、AIの学習に利用される恐れや、意図せずして漏えいする恐れがあります。また、生成AIの出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構、偏った主張又は倫理上問題のある表現などが含まれている可能性があります。

出願書類等の作成に当たっては、山形大学の「入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正を疑われたり、入学後に修学上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に検討したものを提出してください。

目 次

インターネット出願の流れ	1
I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	5
II 入学定員・募集人員	17
III 学校推薦型選抜共通事項	
1 学校推薦型選抜に係る留意事項について	18
2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について	19
3 入学試験情報開示について	20
4 学校推薦型選抜に関するお問合せについて	20
5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について	20
6 出願方法等について	21
7 受験票の印刷	24
IV 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）	
1 出願受付期間等	25
2 出願書類及び出願手続	25
3 学部等別募集要項細目	
人文社会科学部	27
地域教育文化学部	29
理学部	31
工学部昼間コース	33
工学部フレックスコース	36
農学部	37
社会共創デジタル学環	38
4 受験者心得	39
5 合格者の発表	40
6 入学手続	40
7 授業料	40
V 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）	
1 出願受付期間等	42
2 出願書類及び出願手続	42
3 学部等別募集要項細目	
人文社会科学部	44
地域教育文化学部	46
医学部	48
4 受験者心得	52
5 合格者の発表	53
6 入学手続	53
7 授業料	53
☆ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】	54
VI 令和7年度山形大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について	55
VII 山形大学試験場案内図	58
VIII 出願書類	
● 大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙【学校推薦型選抜Ⅱ受験者用】（見本）	
● 推薦書	
推薦書記入上の注意	
● 志望理由書	
志望理由書記入上の注意	
● 誓約書（地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース学校推薦型選抜Ⅱ用）	
● 誓約書（医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱ 地域枠用）	
山形大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」を志願する場合の注意事項について	
● 読書感想文記述用紙	
（人文社会科学部人文社会科学科総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース用）	
★ 大学案内及び各学部のパンフレット請求方法	

学校推薦型選抜においてインターネット出願を実施します。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・出願書類等の詳細は、必ず学生募集要項本文で確認し、不備のないように出願してください。



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンタ、顔写真データなどを用意してください。

出願に必要な書類には、発行まで時間を要するものがあります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

パソコン等の推奨環境は23ページを参照してください。



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

大学ホームページからアクセス

<https://www.yamagata-u.ac.jp>



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 を
クリックしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面にて登録した
メールアドレスと④で届いた
『初期パスワード』を入力の上、
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
「マイページへ」を
クリックしてください。

⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。



出願登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。
検定料の支払い後に誤入力に気づいた場合は、本要項20ページに記載の志願学部等の担当部署に連絡してください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥ 出願内容の確認
「入学願書(サンプル)」ボタンを
クリックすると入学願書が確認できます。



⑦ 出願登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
出願情報を確認する場合と、出願書類等
を出力する際に必要になります。



⑧ 検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えた上、確認メールで通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)														
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)										
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認番号 メモ(6桁)					
----------------	--	--	--	--	--

収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1
----------------	---	---	---	---	---

※収納機関番号はペイジーで
お支払いの際に必要となります。

出願登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

STEP

5

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、お支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ移行しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

インターネットで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

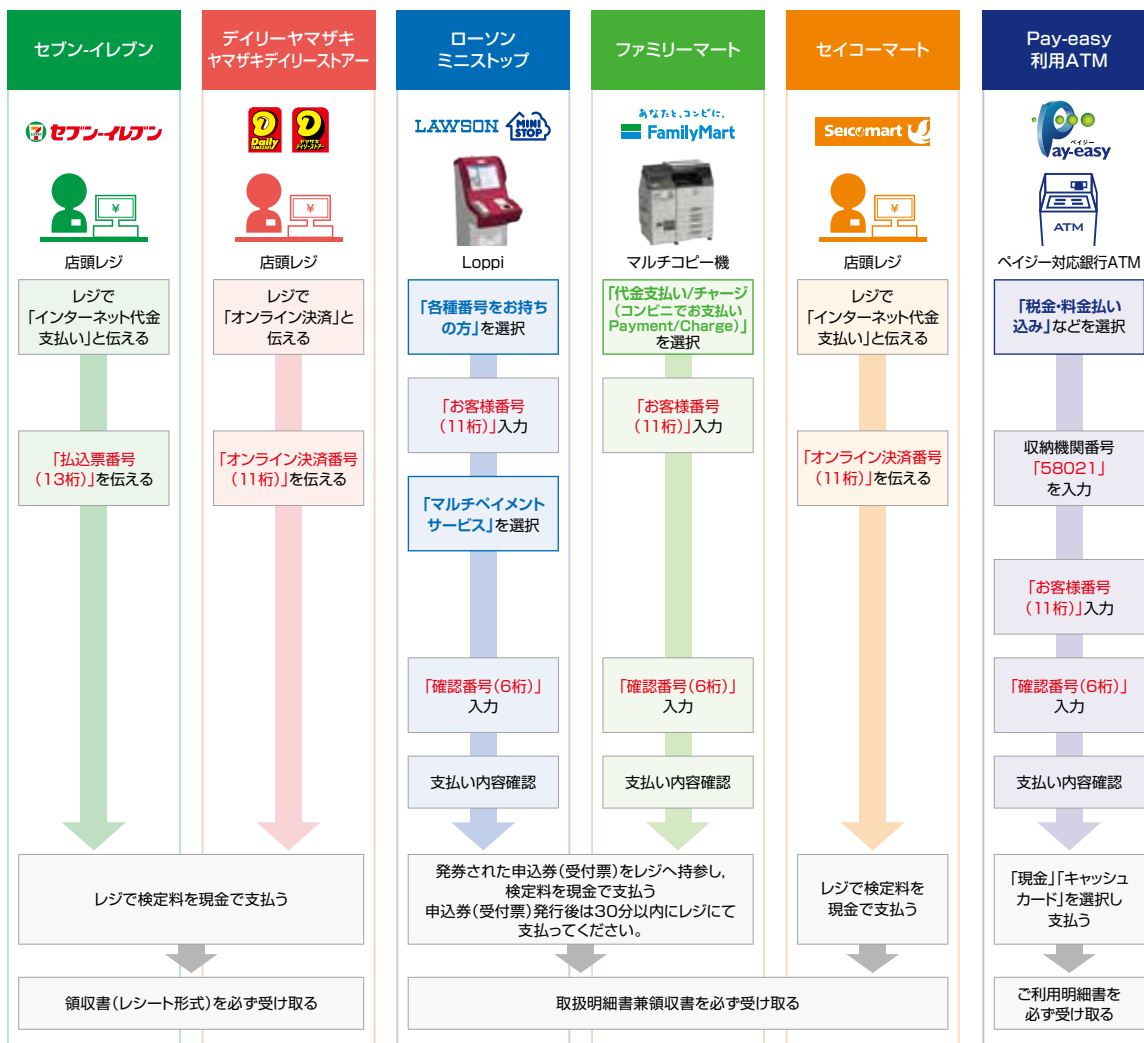
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作の上、お支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

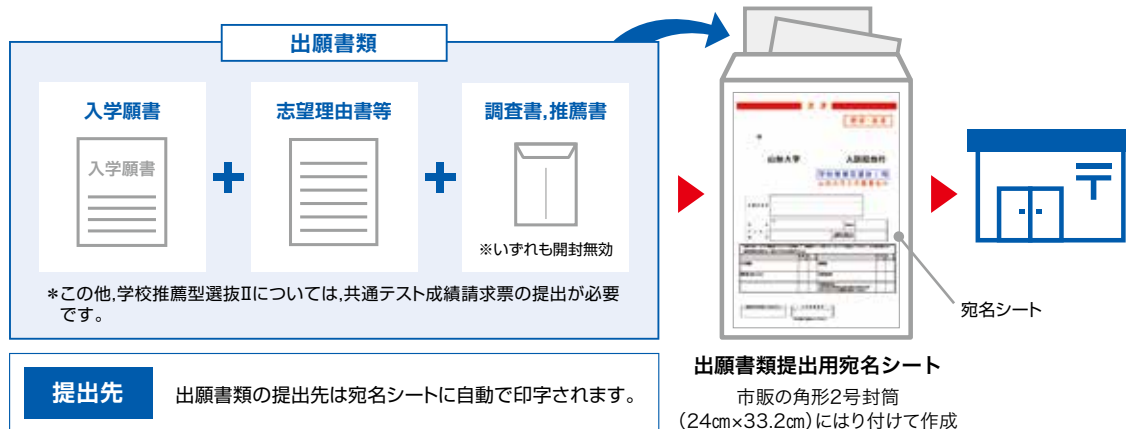
6



出願書類等の印刷と郵送又は持参

登録しただけでは出願は完了していませんので
注意してください。

出願登録、検定料の支払い後にダウンロードできる書類をA4タテ片面カラー印刷し、その他の出願書類等と併せて、出願期間までに本学に届くように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送又は持参により提出してください。本要項25ページ及び42ページの出願受付期間を参照してください。



「入学願書」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「入学願書(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「入学願書(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学願書の出力ができます。

■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。
出願に必要な書類は学生募集要項本文を参照してください。

※出願を受理した検定料・出願書類は、募集要項に記載の場合を除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類等を郵送又は持参して完了となります。登録が完了しても出願期間までに書類が提出されなければ出願を受理できませんので注意してください。

出願登録及び検定料の支払いは24時間可能です。ただし、出願期間最終日は16時30分までです。出願書類等の提出については、本要項25ページ及び42ページの出願受付期間を参照の上、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへメールでお知らせします。

ダウンロード可能期日は、本要項24ページの「7 受験票の印刷」を参照してください。

ダウンロード可能期日にメールが届かない場合は、志願学部等の担当部署(20ページ参照)に連絡してください。

「出願内容の確認/入学願書の印刷」ボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日は、印刷した受験票を忘れず持参してください。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙にタテ片面でカラー印刷してください。



I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために、多様な方法で選抜を実施します。

人 文 社 会 科 学 部

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

Challenge：人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人

Cooperation：多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人

Contribution：活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から人文社会科学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰ、社会人入試及び私費外国人留学生入試を実施します。

人文社会科学科

（人間文化コース）

人間文化コースは、文化人類学、日本学、歴史学、文化解釈学、認知情報科学の5つのプログラムから成り、それぞれの学問において、古今東西の文献・作品を分析する資料分析科目、実地に調査を重ねる課題解決型科目、仮説を実証的に検証する実験科目等、人文科学の多彩な手法を用いて研究を進めます。情報処理や語学等の基礎的スキルを学んだ上で、講義・演習で特定分野の専門知を体系的に修得し、その知識をいかした課題解決型の演習に取り組むという過程を通じて、創造性豊かに社会に貢献できる人材を養成します。

人間文化コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・人間とその文化的活動に強い関心を持ち、人文科学の諸分野を学ぶ意欲を持っている人（Challenge）
- ・異なる意見を理解し、自分の考えを論理的に表現することで、他者との協調を図ることのできる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の基礎的学力を身に付けており、大学で習得する知識や経験を社会の課題解決に生かす意欲を有する人（Contribution）

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅱ

人文科学への勉学に強い意欲を持ち、それに深く関連する科目の基礎的学力を身に付けた入学者を選抜するために、大学入学共通テストにおける国語、外国語、地理歴史、公民の教科・科目と書類審査を課し、人文科学に対する関心・問題意識とそれに関連する基礎的学力等を総合的に評価します。

（グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースは、国際地域研究と多文化研究の2つのプログラムから成っています。外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人（Challenge）
- ・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
- ・基礎的な英語力を身に付けており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身に付ける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的と意欲を持ち、在学中に優れた活動実績がある者を選抜するために、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書）及び面接（プレゼンテーションを含みます。）を課し、国際社会・異文化理解・外国語に対する関心、基礎的能力、論理的思考力、表現力を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

外国語を含む基礎的学力を総合的に評価するため、大学入学共通テスト（国語、地理歴史、公民、数学、外国語）を課します。さらに、国際社会・異文化理解に対する関心、海外での勉学に対する強い意欲並びに外国語に対する適性を確認するため、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により選抜します。

（総合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコース）

各コースの概要、求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

【総合法律コース】

総合法律コースでは、体系的な法学教育を通じて法律学の基礎的知識を修得した上で、学際的な教育プログラム及び法律専門機関等との連携・協力による実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて、幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることができます。法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成します。

【地域公共政策コース】

地域公共政策コースでは、地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に把握・分析し、実践的な活動を通じてその解決に取り組むことのできる人材を養成します。産官学民の枠を超えて協働し地域活動や政策形成を行うことのできる、地方創生の担い手として必要な知識・能力を身に付けることができます。

【経済・マネジメントコース】

経済・マネジメントコースでは、経済社会で活躍するために不可欠な知識や思考力を身に付けることができます。専門科目の体系的な履修に加えて、コース横断的な科目や多彩な実践科目の履修を通じて、経済社会の課題解決と持続可能な地域経済発展に貢献できる人材を養成します。

◆求める学生像

- ・社会に対する強い関心と社会科学を学ぶ強い意欲を持っている人（Challenge）
- ・物事を論理的に考える力や自分の考えをわかりやすく伝える力を持ち、異なる価値観を持った人たちと協調的に行動できる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の学力を有し、大学で身に付けた知識や考え方を生かして社会の発展に貢献する意欲のある人（Contribution）

◆入学選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

それぞれのコースで学ぶ意欲、在学中の優れた成績・活動実績を有し、社会への深い関心を持った人を選抜するため、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書、読書感想文）と面接（口頭試問を含みます。）を課します。協調性を持って倫理的に行動できるか、社会の発展に貢献する意欲があるかについても評価します。

地 域 教 育 文 化 学 部

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学の教育・研究を通じて幅広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、独創性と柔軟性をもって地域課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する実践的な人材の養成を目的とします。

地域教育文化学部の求める学生像及び入学選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

Challenge：広い視野に立って、新しいことに挑戦しようとする意欲のある人

Cooperation：課題に積極的に取り組む行動力、他者を受け入れる包容力、社会性とコミュニケーション能力を備えている人

Contribution：今日的な社会課題とその課題解決に強い関心があり、地域文化の活性化に貢献できる職業に就きたい意欲・情熱を持っている人

◆入学選抜の基本方針

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学について学び、広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持って地域の課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する意欲を持った学生を受け入れます。

以上のような観点から、地域教育文化学科の各コースでは、具体的に次のような入学選抜を実施します。

地域教育文化学科

（児童教育コース）

本コースでは、高等学校までの基礎的な学力・実技能を身に付けて、学校・地域・家庭の連携と相互信頼関係の必要性を理解し、今日の社会の要請に応える高度な専門性を有する小学校教員を目指す意欲を持った学生を受け入れます。また、小学校教員に加えて、幼児や障がいのある子どもへの適切な指導を行うことのできる教員や、中学校5教科（国語・社会・数学・理科・英語）のいずれかの専門的知識を有する教員になることを希望する学生を受け入れます。

地域教育文化学科・児童教育コースの求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・小学校教員を目指す人
- ・小学校教員免許に加えて、幼稚園、特別支援学校、中学校（国語・社会・数学・理科・英語）、高等学校（国語・地歴・数学・理科・英語）のいずれかの教員免許取得を目指す人

- ・各教科にわたる基礎的な知識と探究心を備えている人
- ・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
- ・子どもを受けとめられる包容力や寛容な心、他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接（口頭試問を含みます。）により、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力、論理的思考力、判断力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力等）、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱ

卒業後に山形県内の小学校教員となることを強く希望する者を対象とした選抜を行います。大学入学共通テスト（6教科7科目）を課し、教科に関わる基礎的学力を評価します。さらに、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接により、山形県内の小学校教員となることへの強い意欲、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、コミュニケーション能力、学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。

（文化創生コース）

本コースは、地域社会の持続可能な発展を「こころ」と「からだ」の両面から支援し、市民の主体的な地域文化創生を支援する意欲を持った学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や、得意分野に関するすぐれた理解・技能を有して、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲を持った学生を受け入れます。

地域教育文化学科・文化創生コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・地域における健康支援や文化的活動に興味や関心のある人
- ・心理学、栄養学、食品学、スポーツ科学等心身の健康に貢献する学問分野に興味や関心のある人
- ・音楽、美術、デザイン等芸術文化に関する分野に興味や関心のある人
- ・保健体育科、音楽科、美術科の中学校・高等学校教員を目指す人

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接（口頭試問を含みます。）により、①基礎的な学力及び思考力・判断力・表現力、②主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢、③地域貢献に対する姿勢、④新たな課題に挑戦しようとする意欲、⑤コミュニケーション能力、⑥コースに関わる適性等を総合的に評価します。

理 学 部

理学部は、自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ、理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て、分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後、独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つの C）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力，論理的思考力及び主体的学習力を持ち，次の3要素（3つの C）を備えていること。

Challenge： 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち，真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人

Cooperation： 高い倫理観と協調性を持ち，身に付けた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人

Contribution： 人間社会の抱える問題を認識し，その解決に向けて，理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて，学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅰにより選抜を実施します。

理学科

独創性と柔軟性を持ち，様々な分野で貢献できる人材として育成するために，1年次には理学の基礎科目を広く学び，理学諸分野の専門的知識の基礎を築きます。その上で，2年次以降に専門分野が体系的に学べる6つのコースカリキュラム（データサイエンス，数学，物理学，化学，生物学，地球科学）から1つを選択します。また，目指す将来像に応じて各種プログラムを選択し，必要なスキルを伸ばすことができます。

こうしたカリキュラムの中で，社会生活における広い視野・コミュニケーション能力・健全な批判精神を醸成し，理学分野の基礎的教育を行います。また専門分野の修得のみならず，専門分野以外の学問領域を含む学際的知識・研究スキル，さらには国際交流や地域社会との連携に関する教育を行い，様々な分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず，基礎学力，思考力，表現力を評価する他，学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神についての面接（口頭試問を含みます。）を行い，面接（口頭試問を含みます。）の得点と書類審査（調査書・推薦書・志望理由書）に基づく得点の合計により可否を判定します。

医 学 部

医学部には，医学科と看護学科の2学科があります。

医学科は，新設医学部・医科大学の一期校として昭和48年に地域医療の中核として設立され，以来，「広い視野を持ち，自ら学び，考え，創造し，それらを生涯にわたって発展させることのできる医師及び医学研究者を養成する」という建学の精神に基づき，すでに4,893人の卒業生を世に送り出しています。

看護学科は，平成5年に東北・北海道地区ではじめての国立4年制大学として設立されました。時代の要請に柔軟に対応できる知識・技術と豊かな人間性を備えた看護職者を養成し，すでに1,823人の卒業生を医療人及び専門的研究者として世に送り出しています。

医学部の学生は卒業後，地域医療の第一線をはじめとして，日本各地の様々な医療機関で，また国際的にも世界各地の研究機関で広く活躍しています。今後さらに地域に根ざし世界で活躍する医療人を育成するため，医学部は以下の「求める学生像」に記された資質を持っている人を受け入れます。

◆求める学生像（3つの C）

- Challenge：** 科学的研究心が強く、現代の保健医療が抱える諸問題の解決に自ら考え、粘り強い学習意欲を持って挑戦できる人
- Cooperation：** 医療人に求められる高度な倫理観と豊かな人間性を備えていることに加え、医療活動がチームで行われることをよく理解して共に働く人々と良好な人間関係を形成できる人
- Contribution：** 世界水準の医学看護学を背景に、高度な地域医療の実践を通じて人類の健康福祉に貢献する意欲を持つ人

◆入学選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科及び看護学科では一般選抜と学校推薦型選抜を実施します。入学試験では、以下に示す医学科及び看護学科のそれぞれのアドミッション・ポリシーに従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

医学科

「人間性豊かな、考える医師の養成」を建学の精神として、綿密なカリキュラムに基づく厳格な医学教育が行われています。ヒトゲノム解析等、めざましい先端的な医学研究の進歩を柔軟に医学教育に反映させたカリキュラムの編成により、最新の医学知識を学ぶことができます。達成可能な現実的な目標を設定し、問題解決型の医師の養成を目指した臨床医学教育を実施するためのカリキュラムがきめ細かく編成されています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で臨床医として医療活動に従事していますが、医学研究者として大学・研究所等で活躍している人も数多くいます。

医学教育に加えて、附属病院や地域の病院における診療を通じた地域医療への貢献とともに、様々な国際的な医学研究への参画と民間との共同研究も行われています。

このように医学科では、最先端の医療・医学研究の実践を背景に地域に根ざして世界にはばたく医師・医学者の育成を行っています。このような医学科の求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち、科学的研究心が強く、旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、柔軟性に富み、倫理性の高い人
- ・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
- ・地域医療を含め、幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人

◆入学選抜方法

学校推薦型選抜Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは、6教科8科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では医療人としての適性を総合的に評価します。

看護学科

生命の尊厳と人権の擁護を重んずる倫理観を基盤とし、誠実で豊かな人間性を備えた看護師・保健師を育成する看護学教育を行っています。（※令和7年度より助産師養成課程の学生募集停止。令和9年度に大学院教育へ移行予定。）

保健・医療・福祉に関わる人々と協働して、根拠に基づく安全な看護を提供できる人材を育成するためのカリキュラムを編成しています。

社会と人々の生活の変化を敏感に捉え、看護の役割・機能・責務について必要に応じた変革を実行できる看護職者を育成することを教育理念としています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で看護職として活躍しています。また、教育研究者として大学で活躍している人や海外で活動する人も増加しています。

このように看護学科では、社会からの多様なニーズに応え、人々の健康と福祉の向上に貢献できる看護職・看護教育研究

者の育成を行っています。このような看護学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・人々の健康と福祉に強い関心を持ち、科学的に迫る姿勢と持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、誠実で高い倫理性を持つ人
- ・他人への思いやりと円滑な人間関係を形成できるコミュニケーション能力を持つ人
- ・看護職として保健・医療・福祉に貢献することへの強い意志を持つ人

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入学共通テストでは、6教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では看護職としての適性を総合的に評価します。

工 学 部

山形大学工学部は、人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし、現在でも高分子（プラスチック）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは、昼間コースに高分子・有機材料工学科、化学・バイオ工学科、情報・エレクトロニクス学科、機械システム工学科、建築・デザイン学科、フレックスコースにシステム創成工学科の合わせて6学科及び工業数学・物理学担当の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して、21世紀の社会と産業の変革に呼応し、「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化、産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では、これらの目標達成のため、上記5学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと、今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として、夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で、米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実施等、大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

Challenge： 自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲にあふれ、身のまわりのいろいろなことに好奇心を持って新しいものを創ること、工夫することに情熱を持って取り組める人

Cooperation： 他人への思いやりの心と健全な倫理観を持ち、社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断し行動できる人

Contribution： 広く社会に目を向け、工学を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

工学部は、このような入学者を幅広く受け入れるため、大学入学共通テストを1次試験とする一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて、総合型選抜Ⅰ（フレックスコース）、総合型選抜Ⅱ（昼間コース）及び学校推薦型選抜Ⅰ等により選抜を実施します。

以上のような観点から、各学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

〔昼間コース〕

高分子・有機材料工学科

高分子・有機材料は、金属、セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており、電子・情報産業から、エネルギー、環境、自動車、航空、宇宙産業、さらには医療・福祉産業に至るまで、我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では、健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて、高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し、技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し、それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者、技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・高分子・有機材料、自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲と吸収力にあふれ、何事に対しても好奇心と情熱を持ってチャレンジできる人
- ・コミュニケーション能力を有し、他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち、社会の中で協調性を保ちながら、自ら考え決断・行動し、成長し続けられる人
- ・広く社会に目を向け、高分子・有機材料工学の技術を通して、強く社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（物理（物理基礎、物理）又は化学（化学基礎、化学）から1科目を選択）、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は、環境、エネルギー、食糧、医療に代表される21世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために、その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い、様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・勉学や科学技術に対する意欲にあふれ、何事にも積極的に取り組める人
- ・社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
- ・応用化学、化学工学、バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、生物等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A）、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）から1科目を選択、及び英語（英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は、“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワーク等のソフトウェア分野と、エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として、希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに、実践的な実習・演習を通じて、社会のニーズに応えられる専門知識を習得し、新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・情報科学や電気・電子通信工学を通して、次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し、学習意欲と協調性がある人
- ・テクノロジーの基礎となる数学、物理、英語を積極的に学習できる人
- ・新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学C）、及び英語（英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の知識を基礎として、技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、独創性と創造性に富んだ技術開発を通して、地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車、航空機、船舶、精密機器、ロボット、エネルギー変換等の従来からの機械工学の基幹分野はもとより、生体工学、医用工学、知能工学等を含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・新しいことに挑戦し、地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
- ・技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、何をなすべきかを真剣に考える人
- ・ものづくりが好きで機械に興味があり、機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために、高等学校等の教育課程においては数学、物理、化学、外国語（英語）等の基礎学力を十分に身に付けていることを求めます。また、幅広い視野を涵養するため、国語、地理歴史・公民、情報等の教科・科目の習得も同時に重要です。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により合否を判定します。

建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は、建築・デザインに関する分野における活動を通して、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わり、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。

建築設計、都市計画、建築史、構造工学、建築環境、工業デザイン等、建築・デザインに関わる学問分野を中心に、他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。

建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
- ・ 積極的に地域と関わり、地域社会の発展に貢献できる人
- ・ 世界を見据えつつ、地域で実践する意欲のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、地学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

学校推薦型選抜 I

大学入学共通テストを課さず、建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力、論理的思考力、観察力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

〔フレックスコース〕

システム創成工学科

システム創成工学科は、1年次から4年次まで米沢キャンパスで講義、実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は、工学の基礎（数学、物理、化学、機械工学の基礎）を学んだ上で、1年次後期に決定し、2年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していく教育カリキュラムとなっています。また、システム創成工学科では、一人一人の学生が、基礎学力や専門知識をうまく活用し、社会人として活躍していく上で必要となる基礎的能力を養成するために、地元自治体や他大学と連携し、大学のキャンパス内では収まらない授業も展開しています。

さらに、このフレックスコースには下記のような特長があります。

- (1) 入学料・授業料が昼間コースの半額
- (2) 数学・物理等の基礎科目については少人数制教育を実施
- (3) 1年次から審査を経て研究室レベルの実践教育を実施
- (4) 社会人の生涯学習の場としての機能も備え、夜間開講科目のみの履修でも4年間で卒業可能

システム創成工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 最先端のものづくり産業で活躍することで、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・ 工学への強い興味を持ち、自己研鑽に励むことで、自らを高めようという意欲のある人
- ・ 柔軟な広い視野を備え、新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
- ・ 将来、ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
- ・ 数学・物理・語学等の基礎学力をバランス良く持っている人
- ・ 学業以外の部活動やボランティア活動等に積極的に参加している人
- ・ バイタリティにあふれ、科学技術の分野で夢や希望を持っている人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民、情報等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

学校推薦型選抜Ⅰ

大学入学共通テストを課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の基礎力（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ）））、志望動機、学習意欲、表現力等を総合して評価し、その成績により可否を判定します。

農 学 部

農学部は、日本有数の穀倉地帯であるとともに、豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、農学、生命科学、フィールドサイエンス等を学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センター（FSC）からなり、全学組織の山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）においても中心的役割を担っています。これらの組織をとおして、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、活発な教育・研究を進めています。また、大学院修士課程や博士課程に進学して、学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

Challenge： 知的好奇心が旺盛で、自ら課題を発見し、その解決に向かって行動できる人

Cooperation： 自然と人間を愛し、人との出会いを通じて学びあいたい人

Contribution： 人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題等に関心を持ち、地域社会及び世界に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

農学部は、1学科3コース制を導入しており、入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱがあります。

食料生命環境学科

食料生命環境学科は、1年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤共通教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して、2年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い、3コースのいずれかに配属となります。2年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。さらに、3年次からは、専門分野のより高度な知識の習得を目指す基幹プログラム、地域のリーダーを目指す地域創生プログラム及び国際的感覚を身に付けることを目指す国際展開プログラムの3つから選択し、将来を見据えた履修プログラムで教育・研究を行います。各コースの概要は、次のとおりです。

【アグリサイエンスコース】

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成します。

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学び、さらに、限られた資源（物的資源、人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。

【バイオサイエンスコース】

生命科学、食品科学等に関わる現場で活躍できる人材を育成します。

植物や、微生物、高等動物等多様な生物を対象とし、これらが持つ生理機能の解明、有用機能の探索・改良等、広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。

【エコサイエンスコース】

森・水・土を知り、地域・地球環境の問題を解決できる人材を育成します。

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが産み出す恵みを享受しながら、将来に渡り持続可能な形で管理、保全するための理論や技術を学びます。

◆求める学生像

- ・自然に学び、自然について深く考えることのできる人
- ・人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題等の解決、生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち、行動できる人
- ・論理的に思考し、表現できる人
- ・基礎的な学力を幅広く身に付けている人
- ・数学、理科等の自然科学に関しては、基礎的な知識を修得するだけでなく、それを応用できる人

以上のような観点から、食料生命環境学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

小論文試験では、問題文を理解した上で論理的に思考し、自分の考えを適切に記述できるかを基準に評価します。面接試験では、質問の意図をくみ取り、自分の考えを適切に表現できるかを基準に評価します。また、出願時に提出された志望理由書や調査書をもとに、修学意欲や農学に対する関心等についても評価します。

社会共創デジタル学環

社会共創デジタル学環では、地域社会の抱える諸課題を多様な人々と協働して解決にあたることのできる人材を育成するため、高等学校等で培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲、Cooperation：協働意欲、Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。

社会共創デジタル学環の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

Challenge：多様な人々と協働して地域課題の解決に挑戦しようとする意志を持つ人

Cooperation：多様な人々と協働できる倫理観・社会性・コミュニケーション能力を持つ人

Contribution：地域社会が抱える諸課題の解決や新たな価値の創造を通して、人類の持続可能な幸福社会の実現に貢献しようとする意欲を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、社会共創デジタル学環では一般選抜と学校推薦型選抜Ⅰを実施します。入学試験では、アドミッション・ポリシーに従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

◆入学者選抜方法

学校推薦型選抜Ⅰ

面接、集団討論、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により、アドミッション・ポリシーに掲げる「求める学生像」の能力・資質を総合的に評価します。

Ⅱ 入学定員・募集人員

※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員については、表紙裏に記載している「医学部医学科の入学定員及び募集人員について」をご覧ください。

学部等	学科・コース		入学 定員	募 集 人 員										
				一般選抜		総合型選抜			学校推薦型選抜		社会人 入 試	私 費 外国 留 学 生 入 試		
				前期 日程	後期 日程	I	Ⅱ	Ⅲ	I	Ⅱ				
人文社会 科 学 部	人文社会 科 学 科	人間文化コース	280	53	7	-	-	-	-	12	-	5		
		グローバル・スタディーズコース		23	-	4	-	-	8	8	-	-		
		総合法律コース		110	13	-	-	-	37	-	若干人	若干人		
		地域公共政策コース（*1） 経済・マネジメントコース												
	計		280	186	20	4	-	-	45	20	若干人	5		
地域教育 文化学部	地域教育	児童教育コース	75	40	5	-	-	-	20	(*2)10	-	若干人		
	文化学科	文化創生コース	90	45	5	(*3)14	-	(*3)16	10	-	-	若干人		
	計		165	85	10	14	-	16	30	10	-	若干人		
理 学 部	理学科		200	125	25	(*4)20	-	-	(*4)25	-	-	5		
	計		200	125	25	20	-	-	25	-	-	5		
医 学 部	医学科		※105	60	15	-	-	-	-	一般枠：地域枠 (*5)25（*5）5	-	若干人		
	看護学科		60	35	5	-	-	-	-	20	-	若干人		
	計		165	95	20	-	-	-	-	50	-	若干人		
工 学 部	昼 間 コ ー ス	高分子・有機材料工学科	140	83	10	-	-	7(3)	-	35	-	-	(*7)16	
		化学・バイオ	140	82	41	7	-	-	5(2)	-	15	-		-
		応用化学・化学工学コース			41	7	-	-	5(2)	-	15	-		-
		バイオ化学工学コース			43	10	-	-	5(2)	-	15	-		-
		情報・エレクトロニクス学科	150	86	43	10	-	(*6)	5(2)	-	15	-		-
		電気・電子通信コース			43	10	-	-	5(2)	-	15	-		-
		機械システム工学科			140	87	10	-	-	8(3)	-	32		-
		建築・デザイン学科	30	17	5	-	-	3(1)	-	5	-	-		
	昼間コース 計		600	355	59	-	-	38(15)	-	132	-	-	16	
	フレックス コ ー ス	システム創成工学科	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-		
フレックスコース 計		50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-			
計		650	390	64	5	(*6)38(15)	-	137	-	若干人	16			
農 学 部	食料生命環境学科		165	95	25	-	-	5	-	40	-	-	若干人	
	計		165	95	25	-	-	5	-	40	-	-	若干人	
社会共創デジタル学環			30	12	3	-	-	-	15	-	-	-		
計			30	12	3	-	-	-	15	-	-	-		
合 計			1655	988	167	43	43	16	292	80	若干人	26		

- (※1) 人文社会科学部人文社会科学科総合法律コース、地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として入学試験を行います。そのため、総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。
- (※2) 地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース「学校推薦型選抜Ⅱ」は、卒業後に山形県内の小学校教員となることを強く希望する者を対象とした選抜を行います（山形県小学校教員希望枠）。
- (※3) 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースは、次の「実技検査区分/募集人員」で選抜を行います。
・総合型選抜Ⅰ/14人…「美術分野/1人程度、音楽分野/6人程度、スポーツ分野/7人程度」
・総合型選抜Ⅲ/16人…「美術分野/2人程度、音楽分野/7人程度、スポーツ分野/7人程度」
- (※4) 理学部理学科は、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。
・総合型選抜Ⅰ/20人…「数学/4人」、「物理学/4人」、「化学/4人」、「生物学/4人」、「地球科学/4人」
・学校推薦型選抜Ⅰ/25人…「数学/5人」、「物理学/5人」、「化学/5人」、「生物学/5人」、「地球科学/5人」
- (※5) 医学部医学科「学校推薦型選抜Ⅱ」募集人員30人の内訳は、「一般枠」25人、「地域枠」5人となります。
「一般枠」と「地域枠」を併願することはできません。
- (※6) 工学部昼間コース「総合型選抜Ⅱ」募集人員には、山形県内高校等の受験者を対象に合否判定を行う（ ）内の人数を含みます。
- (※7) 工学部昼間コースの「私費外国人留学生入試」は、「志願学科・コース」で選抜を行います。

- (注) 1 入学定員の中には、若干人と記載のある入試の募集人員を含みます。
2 総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生入試（人文社会科学部人文社会科学科人間文化コース、理学部理学科及び工学部昼間コースのみ）において、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。
3 工学部の「昼間コース」は、昼間に授業を行う課程であり、「フレックスコース」は、主として夜間に授業を行います。昼間の授業の履修も可能な課程です。

次の学部では、一般選抜前期日程試験において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置します。
工学部昼間コース（建築・デザイン学科を除く。）及びフレックスコース：名古屋市（JR名古屋駅付近）
農学部：山形市（山形大学小白川キャンパス内）
また、人文社会科学部人文社会科学科人間文化コースでは、私費外国人留学生入試において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置する予定です。
東京都内及びモンゴル国ウランバートル市内

Ⅲ 学校推薦型選抜共通事項

1 学校推薦型選抜に係る留意事項について

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課すもの及び課さないものを含む)へ出願することができるのは、一つの大学・学部等ですので注意してください。
- (2) 人文社会科学部人文社会科学科の総合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として募集します。そのため、総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。また、この3つのコースでは、1年次に各コースへ分かれず、2年次に各コースへ分かります。
グローバル・スタディーズコースの学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)に出願し、不合格となった者は、学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)の同一学科・同一コースにのみ出願することができます。
- (3) 地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コースの学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)に出願し、不合格となった者は、学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)の同一学科・同一コース(山形県小学校教員希望枠)にのみ出願することができます。
- (4) 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの総合型選抜Ⅲの第1次選抜に合格した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)に出願することはできません。
- (5) 学校推薦型選抜で不合格となった場合又は不合格となる可能性に備えて、国公立大学の一般選抜に出願することができます。この場合、大学入学共通テストを受験している必要があります(一般選抜の出願期間：令和7年1月27日(月)～2月5日(水))。
- (6) 学校推薦型選抜入学志願者は、志願する学科等で課す大学入学共通テスト(学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)に限る。)及び学力検査等(面接等)をすべて受験しなければ失格となります。
- (7) 学校推薦型選抜合格者が入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (8) 学校推薦型選抜合格者は、特別の事情がある場合を除き、入学を辞退することはできません。
ただし、特別の事情があり、やむを得ず入学を辞退する場合は、当該入学志願者の推薦を行った出身学校長からの「推薦入学辞退願」(様式は任意。合格学部学科等名、大学受験番号及び入学を辞退する特別な理由を記載した上で、本人及び推薦学校長が連署・押印したもの。)を本学に提出し、許可を得てください。
この入学辞退を許可された場合を除いては、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりませんので、十分注意してください。
- (9) 学校推薦型選抜入学志願者は、特別の事情がある場合を除き、入学試験を欠席又は合格を辞退することはできません。
ただし、特別の事情があり、入学試験を欠席又は合格を辞退する場合は、上記(8)の「推薦入学辞退願」に準じたものを本学に提出してください。
- (10) 入学手続完了者が高等学校等を卒業又は修了できない場合は、入学を取り消します。
- (11) 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、山形大学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
また、本学は、入学試験に関する個人情報を次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
 - ① 入学者選抜試験実施のため
 - ② 入学手続業務のため
 - ③ 入試統計調査のため
 - ④ 就学上必要な本学での業務のため
 - ⑤ その他大学として必要な業務のため
- (12) その他学校推薦型選抜に関し、追加すべき事項が生じた場合には、出身学校長を通じて連絡します。

2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する場合、事前に相談することにより、配慮される場合があります。配慮を希望する者は、申請期限までに、以下の担当に電話連絡の上、所定の申請書に医師の診断書等を添えて提出してください。なお、申請期限後に発生したやむを得ない事情により配慮を希望する必要がある場合は、申請期限後であっても申請を受け付ける場合がありますので、該当する場合はできるだけ早めにご相談ください（学内で検討し申請をお断りする場合があります。）。

【申請期限】

学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科のみ）…令和6年10月16日（水）まで（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月13日～16日及び10月15日を除きます。）

学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科を除く）…令和6年12月20日（金）まで（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月13日～16日及び10月15日を除きます。）

【担当】

エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL (023)628-4141

また、事前相談は病気・負傷や障害等のある入学志願者が安心して受験に臨み、入学後スムーズに修学できるようにするためのものであり、相談内容によって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

提出書類等の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

区 分	対 象 と な る 者
① 視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

※試験時間中、机の上に置けるもの（39、52 ページ「4 受験者心得」参照）以外のものを病気・負傷や障害等により使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

3 入学試験情報開示について

(1) 合格最高点・最低点及び合格者の平均点について

合格最高点・最低点及び合格者の平均点は、山形大学ホームページにより公表します。
なお、合格者が10人以下の学科等については、公表しません。

(2) 入学試験個人成績等の開示・請求方法について

- ① 開示請求受付期間 令和7年5月1日～5月31日（消印有効）
受付時間は、9時から16時30分までとします（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日を除きます。）。
- ② 請 求 者 受験者本人に限ります（代理人による請求は認めません。）。
- ③ 請 求 方 法 受験した学部等の担当部署（「5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について」参照）の窓口への持参又は郵送により受け付けます。次の(i)～(iii)により申し込んでください。
なお、郵送による申込の場合は、受験した学部等の担当部署宛ての封筒の表に「〇〇学部入試成績開示申込み」と朱書きしてください。
(i) 令和7年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書
※申込書は、令和7年4月中旬以降、山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」からダウンロードしてください。
(ii) 本学受験票（写しは不可）
※内容を確認後、窓口申込時もしくは成績返送時に返却します。
(iii) 返信用封筒（長形3号（23.5cm×12cm）に460円分の切手をはり、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）
- ④ 開 示 方 法 請求のあった日の翌日以降2週間以内を目途に、郵送（簡易書留）により開示します。
ただし、請求状況によっては、時間を要する場合がありますので、ご了承ください。

4 学校推薦型選抜に関するお問合せについて

学校推薦型選抜に関する事務は、各学部等の担当部署で取り扱います。不明な点があれば、電話又は郵送にてお問合せください。なお、郵送による場合は、必要事項（送付先郵便番号・住所・氏名）を記載した返信用封筒（所要切手添付）を同封してください（お問合せ先は、以下の「5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について」を参照してください。）。

5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	人文社会科学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023)628-4207
地域教育文化学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023)628-4310
理学部に関すること	理 学 部 入 試 担 当		(023)628-4710
医学部に関すること	医 学 部 入 試 担 当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	(023)628-5049
工学部に関すること	工 学 部 入 試 担 当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農 学 部 入 試 担 当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808
社会共創デジタル学環に関すること	社会共創デジタル学環入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023)628-4500

(注) お問合せは、8:30～17:00（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月13日～8月16日、10月15日及び12月28日～1月5日を除く。）の時間帯でお願いします。

6 出願方法等について

(1) 出願方法

インターネット出願サイトで出願登録を行い、出願書類等を出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参してください。

出願手続きの手順は以下のとおりです。

STEP 1	事前準備	23ページの「(4) 事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
STEP 2	インターネット出願サイトにアクセス	本学ホームページからインターネット出願サイト (https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/internetapplication) にアクセスしてください。
STEP 3	マイページの登録	画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
STEP 4	出願内容の登録	インターネット出願サイトの指示に従い、必要な情報を入力してください。 <u>登録完了すると、登録した情報は変更できなくなりますので、登録する前に必ず内容の確認をしてから登録してください。</u>
STEP 5	検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください。
STEP 6	出願書類等の印刷と郵送 又は持参	インターネット出願サイトから出願書類等を <u>A4タテ片面でカラー印刷</u> し、他の全ての出願書類等と合わせて出願期間内に本学に届くように、 <u>郵送（書留速達）又は持参</u> してください。
STEP 7	受験票の印刷	出願が受理された方は、インターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。（ダウンロード可能期日は、本要項24ページの「7 受験票の印刷」を参照）インターネット出願サイトにログインし、入学志願者が各自 <u>A4タテ片面でカラー印刷</u> して、 <u>必ず試験当日に持参してください。</u>

(注) 出願書類や受験票は、それぞれ指定の方法で印刷してください。ページの拡大／縮小は「なし」で、「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

(2) お問い合わせ先

○インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関するお問い合わせ先
株式会社キャリアス「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL 0120-202079（インターネット出願登録及び検定料支払期間中）

※上記以外の入試に関する質問については、以下のお問い合わせ先に連絡してください。

○入試全般に関するお問い合わせ先

山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL (023) 628-4141

（平日8:30～17:00／土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日、8月13日～8月16日、10月15日及び12月28日～1月5日を除く。）

(3) 検定料の支払い ※3 ページ インターネット出願の流れ STEP5 参照

検定料の支払いは、「STEP 4 出願内容の登録」完了後に行います。出願登録完了後に送信される「検定料支払手続きの案内メール」に記載されている、検定料の支払期限内に支払ってください。

なお、出願登録完了後に以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

- ① 出願登録完了画面から引き続き、「引き続き支払う」をクリックする。
- ② インターネット出願サイトにログインして、「支払い」をクリックする。

検定料	支払期間
17,000円 (工学部フレックス コース入学志願者は 10,000円)	・25ページ及び42ページ「(1) 出願受付期間」で該当する箇所を確認してください。 ・支払期間について、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までに支払ってください。ただし、インターネット出願登録を完了した日から出願締切日までが4日に満たない場合は、出願締切日16時30分までに支払ってください。それ以降の支払いはできません。

※検定料の支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

支払方法	取扱機関等
クレジットカード (出願登録に引き続き支払完了)	VISA / Master / JCB / AMERICAN EXPRESS / MUFGカード / DCカード / UFJカード / NICOSカード
ネットバンキング (インターネットで手続き完了)	決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります。
コンビニエンスストア	セブン-イレブン / デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア / セイコーマート (店頭レジにて支払う。)
	ローソン、ミニストップ (Loppi) / ファミリーマート (マルチコピー機) (各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し、支払う。)
郵便局・銀行ATM (ATMの画面表示に従って必要情報を入力し、支払う。)	ペイジー対応銀行ATM (ゆうちょ銀行も含まれます。)

【検定料支払いに関する注意事項】

- 1 **検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。**
引き続き、出願書類等の印刷及び提出を、期間内に必ず行ってください。なお、インターネット出願サイトからの出願書類等の印刷は、検定料支払い前にはできません。
- 2 支払手続きに関する詳細・注意点等は、インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。
- 3 支払期間を過ぎると、検定料を支払うことはできません。
- 4 支払期間内に入金がない場合、申込は自動的にキャンセルになります。
- 5 インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないよう注意してください。**ただし、検定料の支払い前に出願登録内容の誤りに気づいた場合は、検定料を納付せずに、再度「STEP 4 出願内容の登録」からやり直してください (誤った登録データは、支払期間中に検定料が支払われなければ、自動的にキャンセル扱いとなり削除されます。)**
検定料支払い後に出願登録内容の誤りに気づいた場合は、志願学部等の担当部署 (20ページ参照) に連絡してください。
- 6 クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、入学志願者本人でなくても構いません。

【検定料の返還等について】

- 1 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合）
 - ② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合
- 2 返還についてのお問合せは、志願学部等の担当部署（20ページ参照）をお願いします。
 なお、申出期限は令和7年3月31日(月)までとします。
- 3 本学では、東日本大震災、令和6年能登半島地震及び令和6年4月以降に発生した自然災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和7年度学部等入学者選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を講じます。詳細は、本要項の「自然災害等により被災された山形大学学部等入学志願者の検定料の免除について（表紙裏）」及び、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

(4) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕を持って確認及び準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 パソコン利用時推奨環境 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 スマートフォン・タブレット利用時推奨環境 ・iOS 12 以上 ・Android 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※各OSの標準ブラウザ最新版が推奨環境になります。 ※ブラウザの複数タブでの同時操作はお控えください。 ※ブラウザの「戻る」「進む」ボタン、スマートフォンのスワイプは使用しないでください。前後の画面へ移動する際は、必ず画面内に表示されているボタンを押してください。 ※表示が崩れたり上手く動作しないときは他のブラウザを使用してください。
メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信の設定をされている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに、以下のメールが送信されます。 ①マイページ登録時のテストメール ②出願登録情報の入力後の自動送信メール ③検定料支払い完了時の自動送信メール ④受験票がダウンロード可能になった際の通知メール ⑤入学手続全般に係る各種メール ※試験又は入学手続が終了するまでメールアドレスは変更しないでください。
入学志願者本人の顔写真（データ）の準備	出願登録に当たって、顔写真データ（ファイル種類（jpeg, png, bmp, gif），最大10MBまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、<u>背景無し</u>のカラー写真データを準備してください。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>プリントされた写真を再撮影しているもの等</u>。

その他出願に必要な書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」、大学入学共通テスト受験票の下欄に付属の「令和7共通テスト成績請求票（学校推薦型選抜Ⅱのみ）」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください（25ページ及び42ページの「2 出願書類及び出願手続」参照）。出願に必要な書類を山形大学ホームページからあらかじめダウンロードし、印刷・記入してください。
角形2号封筒の用意	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。
様式印刷の用意 （プリンタ、用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、 A4タテ片面でカラー印刷 する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。 印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません（個人情報の取扱いには十分注意してください。）。

7 受験票の印刷

山形大学入学試験受験票が印刷可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへメールでお知らせします。インターネット出願サイトにログインし、受験票をダウンロードして**A4タテ片面でカラー印刷**してください。受験票がダウンロード可能になったことをお知らせする日付は下記のとおりです。

- (1) 学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科のみ）

令和6年11月8日（金）

試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を持参してください。

- (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（人文社会科学部人文社会学科、医学部看護学科）

令和7年1月27日（月）

医学部看護学科について試験当日は、「山形大学入学試験受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の2つを持参してください。

なお、人文社会科学部人文社会学科については、書類選抜のみとなり、来学の必要はありません。

- (3) 学校推薦型選抜Ⅱ（地域教育文化学部地域教育文化学科のみ）

令和6年12月9日（月）

試験当日は、「山形大学入学試験受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の2つを持参してください。

- (注) 1 上記期日にメールが届かない場合や、ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合は、志願学部等の担当部署（20ページ参照）へ連絡してください。
- 2 「山形大学入学試験受験票」は、切り取り線に沿って切り取り、持参してください。
- 3 「大学入学共通テスト受験票」は入学手続（学校推薦型選抜Ⅱのみ）の際に、「山形大学入学試験受験票」は入学手続及び入学試験情報開示（20ページ参照）の際に必要なになりますので、大切に保管してください。
- 4 かすれ等があり、鮮明でない場合は再度印刷し、鮮明なものとなるようにしてください。印刷物に手書きで加工する行為はおやめください。

Ⅳ 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

1 出願受付期間等

(1) 出願受付期間

学 部 等	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送（書留速達）)
人 文 社 会 学 部	令和6年10月25日（金）9時 ～11月6日（水）16時30分	令和6年11月1日（金）9時 ～11月6日（水）16時30分【必着】
地域教育文化学部		
理 学 部		
工学部昼間コース		
工学部フレックスコース		
農 学 部		
社会共創デジタル学環		

※持参の場合、出願期間中（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日を除きます。）の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

(2) 出願書類の提出先

志願学部等の担当部署（20ページ参照）に提出してください。

（注）1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。

2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。

3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

2 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。出願書類は、学校長の責任のもとに、入学志願者1人ごとに「出願書類提出用宛名シート」をはり付けた市販の角形2号封筒に入れ、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、複数の入学志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、入学志願者ごとの封筒を、「学校推薦型選抜入学願書在中」と朱書きした別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	○ 入学願書は検定料の支払い後に印刷可能になります。インターネット出願サイトから A4タテ片面でカラー印刷 してください。 ○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和7年3月31日（月）まで確実に郵便物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。
調査書	○ 出身学校長が作成し、厳封 してください。 1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。 2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。 3 地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コースの出願資格・出願要件②の（4）及び理学部理学科の出願資格・出願要件（4）に記載している科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
推薦書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、 A4タテ片面で印刷の上 、出身学校長が作成し、 厳封 してください。 ○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
志望理由書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、 A4タテ両面で印刷の上 、本人自筆で作成してください。 ○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
読書感想文	○ 人文社会科学部人文社会科学科の総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースの入学志願者 は、所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、 A4タテ両面で印刷の上 、本人自筆で作成し、提出してください。
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから A4タテ片面でカラー印刷 してください(入学願書と同時に印刷ができます。)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを使用して、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部等の担当部署(20ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

3 学部等別募集要項細目

人 文 社 会 科 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
人 文 社 会 科 学 科	グ ロー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	8 人
	総 合 法 律 / 地 域 公 共 政 策 / 経 済 ・ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	37 人

2 出願資格・出願要件

コ ー ス 名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
グ ロー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を令和 7 年 3 月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第 3 学年を令和 7 年 3 月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1 校につき 2 人以内とします。 (1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 国際社会、異文化理解、外国語について深い関心がある者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和 6 年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
総 合 法 律 / 地 域 公 共 政 策 / 経 済 ・ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を令和 7 年 3 月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第 3 学年を令和 7 年 3 月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1 校につき 2 人以内とします。 (1) 総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 社会について深い関心がある者 (5) 個性的で活力がある者 (6) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和 6 年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

グローバル・スタディーズコース	選 抜 期 日	令和6年11月21日（木）・22日（金） （本学部が指定するいずれかの日）								
	時 間	9：00～17：00（予定）								
	科 目 等	面 接（プレゼンテーションを含みます。）								
	選 抜 方 法	(1) 推薦書，調査書，志望理由書の審査に加え，面接（プレゼンテーションを含みます。）を実施します。 (2) 面接（プレゼンテーションを含みます。）ではまず，国際社会・異文化理解・外国語（言語そのものの特徴や言語比較等）といったグローバル・スタディーズコースで扱う学問分野の中から自分で選んだテーマについて，考えたり調べたりした具体的な成果を，A4用紙1枚（片面のみ使用）にまとめた説明資料（試験当日持参，面接（プレゼンテーションを含みます。）時に提出）にもとづいて，5分程度日本語で話してもらいます。その後，主としてそれをもとにした質疑応答を行います。 (3) 質疑応答は原則として日本語で行い，論理的思考力，勉学意欲，発表力，本コースでの修学に必要な基礎的能力をみます。 (4) 配点は，次のとおりとします。 <table><tr><td>書類審査 （推薦書，調査書，志望理由書）</td><td>面 接 （プレゼンテーションを含みます。）</td><td>合計</td></tr><tr><td>30点</td><td>70点</td><td>100点</td></tr></table> 面接（プレゼンテーションを含みます。）時間は1人30分程度です。			書類審査 （推薦書，調査書，志望理由書）	面 接 （プレゼンテーションを含みます。）	合計	30点	70点	100点
	書類審査 （推薦書，調査書，志望理由書）	面 接 （プレゼンテーションを含みます。）	合計							
	30点	70点	100点							
	採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，国際社会・異文化理解・外国語への関心，本コースでの修学に必要な基礎的能力等を総合的に評価します。								
合否判定基準	推薦書，調査書，志望理由書及び面接（プレゼンテーションを含みます。）の結果を総合して判定します。									
総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース	選 抜 期 日	令和6年11月21日（木）・22日（金） （本学部が指定するいずれかの日）								
	時 間	9：00～17：00（予定）								
	科 目 等	面 接（口頭試問を含みます。）								
	選 抜 方 法	推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。 配点は，次のとおりとします。 <table><tr><td>書類審査 （推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文）</td><td>面 接 （口頭試問を含みます。）</td><td>合計</td></tr><tr><td colspan="2">100点</td><td>100点</td></tr></table> 面接（口頭試問を含みます。）時間は1人30分程度です。			書類審査 （推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文）	面 接 （口頭試問を含みます。）	合計	100点		100点
	書類審査 （推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文）	面 接 （口頭試問を含みます。）	合計							
	100点		100点							
	採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲，学校在学中の成績及び活動実績，社会的関心等を総合的に評価します。								
合否判定基準	推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果を総合して判定します。									

◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

地 域 教 育 文 化 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
地 域 教 育 文 化 学 科	児 童 教 育 コ ー ス	20人 (出願資格・出願要件①10人, ②10人)
	文 化 創 生 コ ー ス	10人

2 出願資格・出願要件

コース名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件	
児 童 教 育 コ ー ス	①	高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき3人以内とします。 (1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 児童教育コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
	②	高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（注）1）又は高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 児童教育コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 数学及び理科について、数学Ⅲ、物理、化学、生物及び地学（理数科にあっては、理数数学Ⅱ、理数物理、理数化学、理数生物及び理数地学）の科目の中から2科目以上を履修した者又は履修見込みの者（注）2） (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。 2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。
文 化 創 生 コ ー ス		高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき3人以内とします。 (1) 文化創生コースでの勉学を強く希望する者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (3) 地域における心身の健康支援（心理、食、スポーツ）や芸術文化（音楽、美術）の振興に強い関心を持つ者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

(1) 選抜日時・科目等

コース名	選抜日時	科目等	配点
児 童 教 育 コ ー ス	令和6年11月21日(木) 9:00～17:00(予定)	面 接 (口頭試問を含みます。)	300点
文 化 創 生 コ ー ス	令和6年11月22日(金) 9:00～17:00(予定)		

- ◎ 地域教育文化学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。
詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

(2) 選抜方法及び成績の評価

児童教育コース

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による個別面接
	時 間	15分程度（志願者数により増減することがあります。）
	内 容	教員を志望する理由や課題についての回答等
採点・評価基準	面接（出願資格・出願要件①，②それぞれ別の口頭試問を含みます。）では，コースに関わる基礎的能力（基礎的学力，論理的思考力，読解力，表現力及びコミュニケーション能力等）と学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。	
合 否 判 定 基 準	面接（出願資格・出願要件①，②それぞれ別の口頭試問を含みます。）の得点と志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

文化創生コース

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による個別面接
	時 間	15分程度（志願者数により増減することがあります。）
	内 容	主として，コースで扱う学問分野や領域に関連して，自分でテーマを選び，そのテーマについて考えたり調べたりした具体的な成果（志望理由書裏面に書かれたもの）をもとに質疑応答を行います。
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では，論理的思考力，学習意欲と問題意識，コミュニケーション能力，本コースでの修学に必要な基礎的能力等を総合的に評価します。	
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点及び志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

4 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

学校推薦型選抜Ⅰ（地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース）の合格者は，「令和7年度入学者選抜要項」の23ページに示す地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの大学入学共通テストの利用教科・科目名欄に記載の「6教科7科目」について解答し，自己採点結果を地域教育文化学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は，インターネットや新聞等で入手できます。）。

なお，これは入学までの期間の勉学意欲継続のため，また，基礎学力を把握し，入学後の学習支援に活用するために行うものです。

5 その他

本選抜で不合格となった場合又は不合格となる可能性に備えて，地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの総合型選抜Ⅲに出願することができます。

この場合，大学入学共通テストを受験する必要があります。

なお，本選抜に合格した場合は，地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの総合型選抜Ⅲの出願書類を受理しません。

理 学 部

1 募集人員

学 科	選 抜 区 分 名	募 集 人 員
理 学 科	数 学	5 人
	物 理 学	5 人
	化 学	5 人
	生 物 学	5 人
	地 球 科 学	5 人

2 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たし、かつ、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 7 年 3 月卒業見込みの者（(注) 1）又は高等専門学校第 3 学年を令和 7 年 3 月修了見込みの者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上である者
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者
- (4) 出願する選抜区分において、次のすべての要件を満たす者（(注) 2）

選 抜 区 分 名	出 願 要 件
数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A 及び数学 B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ 及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者
物 理 学	次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A 及び数学 B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ 及び理数数学特論） ② 理科については，物理基礎及び物理（理数科にあつては，理数物理）
化 学	次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A 及び数学 B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ 及び理数数学特論） ② 理科については，化学基礎及び化学（理数科にあつては，理数化学）
生 物 学	次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A 及び数学 B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ 及び理数数学特論） ② 理科については，生物基礎及び生物（理数科にあつては，理数生物）
地 球 科 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A 及び数学 B（理数科にあつては，理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ 及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者

(注) 1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和 6 年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は，調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。

3 選抜方法

選 抜 期 日	令和6年11月16日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各選抜区分の口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。 また、口頭試問では、黒板又はホワイトボード等を用いて説明していただく場合があります。		
	選抜区分	出題範囲	
	数 学	○ 数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B及び数学Cの範囲の問題 ※数学Bの出題範囲は「数列」，数学Cの出題範囲は「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」とします。	
	物 理 学	○ 物理：物理基礎及び物理の範囲の問題	
	化 学	○ 化学：化学基礎及び化学の範囲の問題	
	生 物 学	○ 生物：生物基礎及び生物の範囲の問題	
	地 球 科 学	○ 地球科学に関する問題	
選 抜 方 法	面接（口頭試問を含みます。）及び書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）により選抜します。 配点は次のとおりとします。		
	面接(口頭試問を含みます。)	書類審査 (調査書，推薦書，志望理由書)	合計
	140点	60点	200点
	面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人20分程度です。		
採点・評価基準	基礎学力，思考力，表現力を評価するほか，学習意欲，自己表現力，チャレンジ精神等を評価します。		
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点及び書類審査（調査書，推薦書，志望理由書）の得点の合計により，合否を判定します。		

◎ 理学部試験場（山形市小白川町一丁目4－12）において実施します。

詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

工 学 部 昼 間 コ ー ス

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科		35人 (出願資格・出願要件①31人, ②4人)
化学・バイオ 工 学 科	応 用 化 学 ・ 化 学 工 学 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
	バ イ オ 化 学 工 学 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
情報・エレクトロニクス 学 科	情 報 ・ 知 能 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
	電 気 ・ 電 子 通 信 コ ー ス	15人 (出願資格・出願要件①12人, ②3人)
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		32人 (出願資格・出願要件①26人, ②6人)
建 築 ・ デ ザ イ ン 学 科		5人 (出願資格・出願要件①5人)

2 出願資格・出願要件

①	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者((注)の1及び2を含みます。)で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任を持って推薦できる者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 1 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者
②	高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科(工業に関する教科・科目を20単位以上修得のこと。)を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任を持って推薦できる者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和6年11月16日（土）	
時 間	9：00～13：00（予定）	
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各学科の口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。	
	学科名	出題範囲
	高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科	○ 物理，化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域，物理の全領域 化学：化学基礎の全領域，化学の全領域
	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）
		【バイオ化学工学コース】 ○ 数学，物理，化学，生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域，化学のうち「物質の状態と平衡」，「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域，生物のうち「生命現象と物質」，「遺伝情報の発現と発生」，「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）
	情 報 ・エ レ ク ト ロ ニ ク ス 学 科	【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「図形と方程式」，「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」 数学Cのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）

科 目 等	学科名	出題範囲	
	情報・エレクトロニクス学科	【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」，「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」，「図形と方程式」， 「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」 数学Cのうち「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）	
	機 械 システム 工 学 科	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」，「三角関数」， 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）	
建 築 ・ デザイン 学 科	建築，都市，デザインを題材とした集団面接における試問を通して，以下の観点から評価します。 ○ 社会に対する幅広い興味・関心 ○ 科学的思考力と論理的表現力 ○ 発想の豊かさと思考の柔軟性		
選 抜 方 法	調査書，推薦書，志望理由書及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 なお，面接（口頭試問を含みます。）では調査書，推薦書及び志望理由書を参考にします。 配点は，次のとおりとします。		
	調査書評価点		面接（口頭試問を含みます。）
	30点		70点
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は，次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力		
合 否 判 定 基 準	(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します（総合点方式）。 (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人20分程度とします。

ただし，建築・デザイン学科については，1グループ25分程度の集団面接（口頭試問を含みます。）とします。

試験当日の注意事項等詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 入学前教育について

本学部では，学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定したeラーニング等による入学前教育を実施しています。

特に，数学，理科及び英語については，工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり，ここでのつまずきは，入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので，合格者全員が受講するようにしてください。

なお，入学前教育の詳細及び費用については，合格通知の際にお知らせします。

工 学 部 フ レ ッ ク ス コ ー ス

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
シ ス テ ム 創 成 工 学 科	5人

2 出願資格・出願要件

高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者（（注）の1及び2を含みます。）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任を持って推薦できる者 (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.3以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 1 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者
--

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和 6 年11月16日(土)								
時 間	9：00～13：00（予定）								
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。								
	<table><tr><td>出題範囲</td></tr><tr><td>○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱの全領域 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の基礎力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）</td></tr></table>			出題範囲	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱの全領域 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の基礎力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）				
出題範囲									
○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱの全領域 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の基礎力（英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ）									
選 抜 方 法	調査書，推薦書，志望理由書及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 なお，面接（口頭試問を含みます。）では調査書，推薦書及び志望理由書を参考にします。 配点は，次のとおりとします。								
	<table><tr><td>調査書評価点</td><td>面接（口頭試問を含みます。）</td><td>合 計 点</td></tr><tr><td>30点</td><td>70点</td><td>100点</td></tr></table>			調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合 計 点	30点	70点	100点
	調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合 計 点						
30点	70点	100点							
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は，次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力								
合 否 判 定 基 準	(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します（総合点方式）。 (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。								

- ◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。
- 面接（口頭試問を含みます。）時間は，1人25分程度とします。
- 試験当日の注意事項等詳細については，受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 入学前教育について

本学部では，学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定したeラーニング等による入学前教育を実施しています。

特に，数学，理科及び英語については，工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり，ここでのつまずきは，入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので，合格者全員が受講するようにしてください。

なお，入学前教育の詳細及び費用については，合格通知の際にお知らせします。

農 学 部

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
食 料 生 命 環 境 学 科	40人

2 出願資格・出願要件

高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者（注）並びに高等専門学校の第3学年を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に食料生命環境学科での勉学を強く希望する者
- (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者

（注）次のいずれかに該当するものを含みます。

- 1 我が国において、当該外国の学校教育制度において12年の課程と同等の課程を有するものとして、文部科学大臣が位置付けた教育施設を修了した者又は修了見込みの者
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者
- 3 国際評価団体の認定を受けた教育施設であって文部科学大臣が指定した教育施設を修了した者又は修了見込みの者

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和6年11月16日(土)		
時 間	9：00～10：30		12：00～17：00（予定）
科 目 等	小 論 文		面 接（口頭試問を含みます。）
選 抜 方 法	推薦書，調査書，志望理由書，小論文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 配点は次のとおりとします。		
	小 論 文	面接（口頭試問を含みます。）	合 計 点
	100点	50点	150点
採点・評価基準	小論文では，「考察力，論理的思考力，理解力，記述力等」を基準に，面接（口頭試問を含みます。）では，「理解力，表現力，意欲，志望理由，修学状況，社会的活動等」を基準に評価します。なお，小論文では英語を含む基礎学力を問う問題を課すことがあります。		
合 否 判 定 基 準	推薦書，調査書及び志望理由書を参考にしながら行った面接（口頭試問を含みます。）と小論文の成績との総合成績により判定します。		

◎ 農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

社 会 共 創 デ ジ タ ル 学 環

1 募集人員

学部等連係課程	募 集 人 員
社 会 共 創 デ ジ タ ル 学 環	15人

2 出願資格・出願要件

高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 山形県内またはそれぞれの生まれ育った地域や地方において、地域課題の解決に貢献しようとする強い意志をもち、本学環で学ぶための基礎学力を備えた者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
--

3 選抜方法等

選 抜 期 日	令和6年11月21日(木)		
時 間	9:00～17:00(予定)		
科 目 等	面接 面接では、本学環を志望する理由等について確認します。 集団討論 集団討論では、「地域課題の解決」について討論します。		
選 抜 方 法	面接、集団討論及び書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により選抜します。配点は次のとおりとします。		
	面接	集団討論	書類審査 (調査書、推薦書、志望理由書)
	120点	120点	60点
合 計 点			
300点			
面接時間は、1人10分程度です。 集団討論時間は、20分程度です。			
採点・評価基準	面接、集団討論、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）では、アドミッション・ポリシーに掲げる「求める学生像」の能力・資質を総合的に評価します。		
合 否 判 定 基 準	面接、集団討論、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）の得点の合計により、合否を判定します。		

- ◎ 社会共創デジタル学環試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。
詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛に通知します。

4 受験者心得

1 「山形大学入学試験受験票」について

- (1) 試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
- (2) 試験場では、常に「山形大学入学試験受験票」を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
- (3) 試験当日、「山形大学入学試験受験票」を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きを取ってください。
- (4) 「山形大学入学試験受験票」を紛失した場合は、速やかに志願学部等の担当部署（20ページ参照）に申し出てください。
- (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。

2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着する等、各自の責任において必要な対応を取ってください。

（過去の事例）

平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。また、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により、新幹線等が運休になりました。前期日程試験までに完全復旧にはならず、試験当日に他県から移動した受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。

- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
 - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
 - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
 - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 9 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。アラーム機能をもつ電子機器類はアラームの設定を解除した上で電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為になります。
- 10 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 11 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 12 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望めます。
- 13 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 14 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 15 受験のための宿泊施設については、本学ではあっせんしていません。

- 16 試験当日，試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく，トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので，十分注意してください。
- また，アンケート等と称して，住所や電話番号を書かせたりする者がいますが，これらの者についても本学と何ら関係なく，個人情報悪用される場合がありますので，慎重に対応してください。

5 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は，次のとおり行います。

発 表 日 時	発 表 方 法
令和6年12月2日(月) 11時	本学のホームページの「入試案内」に全学部等の合格者の大学受験番号を掲載します。

- (注) 1 電話等による合否のお問合せには，一切応じません。
 2 ホームページによる合格者の発表については，発表直後にアクセスが集中し，ホームページがつながりにくい場合がありますので，その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。

合格者は，インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

なお，出身学校長には，選抜結果通知書を送付します。

6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和6年12月11日(水)から12月16日(月)まで(必着)(土・日曜日を除きます。)

受付時間は，9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に，入学料を納付していただきます。

学 部 等	入 学 料
人文社会科学部，地域教育文化学部，理学部，工学部昼間コース，農学部，社会共創デジタル学環	282,000円
工学部フレックスコース	141,000円

(注) 納付方法等詳細については，合格通知の際にお知らせします。

(3) 提出書類

詳細については，合格通知の際にお知らせします。

7 授業料

授業料については，入学後に納付していただきます。

学 部 等	授 業 料	納 付 方 法
人文社会科学部，地域教育文化学部，理学部，工学部昼間コース，農学部，社会共創デジタル学環	年額 535,800円 (予定額)	「年1回払い」，「年2回払い」，「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。
工学部フレックスコース	年額 267,900円 (予定額)	

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。
- 2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- 3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

V 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

1 出願受付期間等

(1) 出願受付期間

学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送（書留速達）)
医 学 部 医 学 科	令和6年10月25日（金）9時 ～11月6日（水）16時30分	令和6年11月1日（金）9時 ～11月6日（水）16時30分【必着】
地域教育文化学部	令和6年11月26日（火）9時 ～12月5日（木）16時30分	令和6年12月3日（火）9時 ～12月5日（木）16時30分【必着】
人 文 社 会 科 学 部	令和7年1月9日（木）9時 ～1月23日（木）16時30分	令和7年1月20日（月）9時 ～1月23日（木）16時30分【必着】
医 学 部 看 護 学 科		

※持参の場合、出願期間中（土・日曜日、国民の祝日に関する法律で定める休日を除きます。）の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

(2) 出願書類の提出先

志願学部の担当部署（20ページ参照）に提出してください。

- (注) 1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。
- 2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。
- 3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

2 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願サイトから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようになります。出願書類は、学校長の責任のもとに、入学志願者1人ごとに、「出願書類提出用宛名シート」をはり付けた市販の角形2号封筒に入れ、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、複数の入学志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、入学志願者ごとの封筒を、「学校推薦型選抜入学願書在中」と朱書きした別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	○ 入学願書は検定料の支払い後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから A4タテ片面でカラー印刷 してください。 ○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和7年3月31日（月）まで確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。 ○ 人文社会科学部及び医学部看護学科の入学志願者は、「令和7共通テスト成績請求票」欄に、「推薦国公立推薦型選抜用」成績請求票を必ずはってください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
大学入学共通テスト 成績請求票 ※はり付け台紙に 貼付	○ 地域教育文化学部地域教育文化学科の志願者は、受験票ダウンロード可能時に送付するメール（24ページ参照）に記載のURLから「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」を A4タテ片面で印刷 し、「大学入学共通テスト成績請求票」をはり付け、令和7年1月9日（木）まで必着するよう地域教育文化学部入試担当へ郵送してください。 ○ 医学部医学科の入学志願者は、受験票ダウンロード可能時に送付するメール（24ページ参照）に記載のURLから「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」を A4タテ片面で印刷 し、「大学入学共通テスト成績請求票」をはり付け、令和6年12月17日（火）まで必着するよう医学部入試担当へ郵送してください。
調査書	○ 出身学校長が作成し、厳封してください。 1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。 2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。 なお、医学部医学科の出願資格・出願要件(2)及び医学部看護学科の出願資格・出願要件(2)に係る科目について、履修見込みの場合は、備考欄にその旨記載してください。 3 医学部医学科の出願資格・出願要件（2）及び医学部看護学科の出願資格・出願要件（2）に係る科目に相当する科目を異なる科目で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載してください。
推薦書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、A4タテ片面で印刷の上、出身学校長が作成し、厳封してください。 ○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
志望理由書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、A4タテ両面で印刷の上、本人自筆で作成してください。 ○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
誓約書	○ 地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース「山形県小学校教員希望枠」の入学志願者は、所定の用紙を本学のホームページからダウンロードし、A4タテ片面で印刷の上、必要事項をもれなく記入し提出してください。 ○ 医学部医学科「地域枠」の入学志願者は、所定の用紙を本学のホームページからダウンロードし、A4タテ両面で【2部】印刷の上、必要事項をもれなく記入し【2部】提出してください（提出された誓約書の1部は、山形大学から山形県に提出します。）。
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトからA4タテ片面でカラー印刷してください（入学願書と同時に印刷ができます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備のある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを使用して、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願サイトで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願サイトで入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（20ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

3 学部等別募集要項細目

人 文 社 会 科 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
人文社会科学科	人 間 文 化 コ ー ス	12 人
	グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	8 人

2 出願資格・出願要件

コース名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
人間文化コース	高等学校若しくは中等教育学校を令和6年3月卒業又は令和7年3月卒業見込みの者（注）及び高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 人文科学分野の勉学に強い関心を持つ者 (2) 異なった意見を尊重し、他者と協力できる人物で学力が優秀な者 (3) 令和7年度大学入学共通テスト（本コースが指定した教科・科目）を受験した（する）者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和5年度又は令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 国際社会、異文化理解、外国語について深い関心がある者 (3) 令和7年度大学入学共通テスト（本コースが指定した教科・科目）を受験した（する）者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

人間文化コース

科 目 等	書類審査（来学の必要はありません。）		
選 抜 方 法	大学入学共通テストの成績、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により、総合的に評価します。		
	配点は、次のとおりとします。		
	大学入学共通テスト	書類審査	合計点
	600 点	100 点	700 点
採 点 ・ 評 価 基 準	書類審査では、人文科学に対する関心・問題意識とそれに関連する基礎的学力等を評価します。		
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テストの成績、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）の結果により、総合的に判定します。		

グローバル・スタディーズコース

科 目 等	書類審査（来学の必要はありません。）		
選 抜 方 法	大学入学共通テストの成績、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により、総合的に評価します。		
	配点は、次のとおりとします。		
	大学入学共通テスト	書類審査	合計点
	700 点	200 点	900 点

採点・評価基準	書類審査では、本コースで学ぶ意欲、学校在学中の成績及び活動実績、国際社会、異文化理解、外国語への関心等を総合的に評価します。
合否判定基準	大学入学共通テストの成績、書類審査（調査書、推薦書、志望理由書）により、総合的に判定します。

4 大学入学共通テストについて 受験を要する教科・科目及び配点

コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
人間文化コース	国 地歴	『国語』 『地理総合、地理探究』， 『歴史総合、日本史探究』， 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』，『公共、政治・経済』 『英語』（リスニングを含みます。），『ドイツ語』， 『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 〔3教科4科目又は4教科4科目〕 (注) 1 「地理歴史」，「公民」（2科目選択）については、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組み合わせを選択することはできません。 2 配点欄の（ ）内の数字は、選択科目の配点を示します。 3 令和6年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。 4 旧教育課程履修者に対する経過措置については、「Ⅵ 令和7年度山形大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について（55ページ）」を参照してください。	国 200 地歴 (100)
	公民 外		公民 (100) 外 200 計 600
グローバル・スタディーズコース	国 地歴	『国語』 『地理総合、地理探究』， 『歴史総合、日本史探究』， 『歴史総合、世界史探究』， 『地理総合／歴史総合／公共』 『公共、倫理』，『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ』， 『数学Ⅲ，数学B，数学C』 『英語』（リスニングを含みます。），『ドイツ語』， 『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 〔3教科3科目〕 (注) 1 「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験をした場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。 2 「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験をした場合は、第1解答科目の成績を用います。 3 『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合については、3つの出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。 4 「地理歴史、公民、数学」について、高得点の科目の成績を利用します。 5 「外国語」は、400点満点に換算します。 6 配点欄の（ ）内の数字は、選択科目の配点を示します。 7 令和6年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。 8 旧教育課程履修者に対する経過措置については、「Ⅵ 令和7年度山形大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について（55ページ）」を参照してください。	国 200 地歴 (100)
	公民 数 外		公民 (100) 数 (100) 外 400 計 700

地 域 教 育 文 化 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
地域教育文化学科	児 童 教 育 コ ー ス	10 人

2 出願資格・出願要件

コース名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
児 童 教 育 コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者。 (1) 山形県内の小学校教員となることを強く希望し、卒業年次に山形県公立学校教員選考試験を校種「小学校教諭（「小学校英語」を含む）」あるいは「特別支援学校小学部教諭」で受験することを誓約できる者 (2) 児童教育コースでの勉学を強く希望する者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者で、人物及び学力ともに優秀な者 (4) 令和7年度大学入学共通テスト（本コースが指定した教科・科目）を受験する者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (6) 児童教育コースの特別教育プログラム（※）を履修することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。 （※）山形県の地域学校協働活動推進に貢献する小学校教員を養成するために、小学校教育プログラムの教育内容に加えて、山形県教育委員会と連携した少人数教育により山形県の教育課題に対応するために必要な事項やコーディネーション能力・ファシリテーション能力を習得するプログラムです。定期的なコーチング面談により目標設定と達成状況の確認を行い、教員を目指す上での成長を促します。

3 選抜方法等

児童教育コース

選 抜 方 法	日時	令和 6 年 12 月 21 日(土) 9：00～17：00（予定）		
	科目	面接		
	時間	15 分程度（志願者数により増減することがあります。）		
	方法	複数の面接担当者による個別面接		
採点・評価基準	面接では、山形県内の小学校教員となることへの強い意欲，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，コミュニケーション能力，学習への意欲，関心及び適性を総合的に評価します。			
	配点は，次のとおりとします。			
	大学入学共通テスト	面接	総合点	
	850 点	600 点	1450 点	
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テスト及び面接の得点と志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。			

- ◎ 地域教育文化学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。
詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 大学入学共通テストについて

コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配 点
	教科	科 目 名	
児童教育 コ ー ス	国 地歴	『国語』 『地理総合，地理探究』， 『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『地理総合／歴史総合／公共』	国 200(200) 地歴※100(100)
	公民	『公共，倫理』，『公共，政治・経済』	公民※100(100)
	数	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	数 200(200)
	理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1	理 100(100)
	外	『英語』（リスニングを含みます。），『ドイツ語』， 『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1	外 200 〔リーディング(100)〕 〔リスニング(100)〕
	情報	『情報Ⅰ』 〔6教科7科目〕	情報 50(100) 計 850

- (注) 1 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」について，2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とし，第1解答科目の成績を用います。
- 2 『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合については，3つの出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち，いずれか2つを選択解答してください。
- 3 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合については，4つの出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち，いずれか2つを選択解答してください。
- 4 配点欄の（ ）内の数字は，大学入学共通テストの素点を示します。
※印を付してある教科は選択科目を表します。
- 5 「情報」について，配点は大学入学共通テストの素点100点満点を50点満点へ換算します。
- 6 令和6年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。
- 7 旧教育課程履修者に対する経過措置については，「Ⅵ 令和7年度山形大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について（55ページ）」を参照してください。

医 学 部

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
医 学 科	30人（「一般枠」25人、「地域枠」5人）
看 護 学 科	20人

2 出願資格・出願要件

学 科 名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
医 学 科	高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（(注)1）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者（1校あたりの推薦人数に制限はありません。） (1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者で、人物・学力共に優秀で、特に医学科での勉学を強く希望する者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者（(注)2） ① 数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B及び数学C（理数科にあっては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上（理数科にあっては、理数物理、理数化学及び理数生物から2科目以上） (3) 令和7年度大学入学共通テスト（本学科が指定した教科・科目）を受験する者 (4) 合格した場合は、医学科に入学することを確約できる者 (注)1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。 (注)2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。 <医学部医学科「地域枠」出願要件> 学校推薦型選抜Ⅱ医学部医学科「地域枠」を受験できるものは、上記に加え、次の(1)、(2)及び(3)の要件を満たす者です。 (1) 山形県内の高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 入学後、令和7年度「山形県医師修学資金」の貸与を受け、医師免許取得後、同修学資金に基づくキャリア形成プログラムに従って、山形県内の指定する医療機関において必要な期間、義務履行の確約（勤務）を誓約できる者 (3) 入学後、キャリア形成卒前支援プランの適用に同意し、在学中において、山形県内定着に向けたキャリア形成に係る取組に参加及び協力ができる者 医学部医学科「地域枠」の出願にあたっては、山形県のホームページにおいて「山形県医師修学資金」の貸与制度を必ずご確認の上、出願してください。 ●山形県のホームページ 「山形県HPホーム」⇒「健康・福祉・子育て」⇒「医療」⇒「医師・看護師確保」⇒「修学資金貸与事業」⇒「山形県医師修学資金貸与制度について」 https://www.pref.yamagata.jp/090013/kenfuku/iryo/ishikangoshi/ishisyugakushikin/ishisyugakushikin.html ●お問合せ先：山形県健康福祉部医療政策課 TEL：(023) 630-3159 

学 科 名	出 願 資 格 ・ 出 願 要 件
看護学科	高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（(注)1）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任を持って推薦できる者（1校あたりの推薦人数に制限はありません。） (1) 人物・学力共に優秀で、看護学の勉学を強く希望し、将来、看護の実践・指導に携わることを決意している者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者（(注)2） ① 数学については、数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B及び数学Cのうち2科目以上（理数科にあつては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ） ② 理科については、物理基礎，化学基礎及び生物基礎のうち2科目以上（理数科にあつては、理数物理，理数化学及び理数生物のうち2科目以上） (3) 令和7年度大学入学共通テスト（本学科が指定した教科・科目）を受験する者 (4) 合格した場合は、看護学科に入学することを確約できる者 (注)1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を令和6年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。 (注)2 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。

3 選抜方法等

医学科（一般枠）

医学科（一般枠）を志願する方は、インターネット出願登録時に「入試枠」で「一般枠」を選択してください。なお、「一般枠」と「地域枠」の併願はできません。

選 抜 期 日	令和6年11月13日(水)		
時 間	9：30～13：30（予定）		
科 目 等	面 接		
採点・評価基準	調査書，推薦書並びに志望理由書及び面接の結果により，総合的に評価します。 面接では，医療人としての適性を評価します。 配点は，次のとおりとします。		
	大学入学共通テスト	面 接	総合点
	950点	100点	1050点
合否判定基準	大学入学共通テスト，面接（調査書，推薦書，志望理由書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。 なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。 また，総合点が同点の場合は，面接の得点により順位を付けます。		

◎ 医学部試験場（山形市飯田西二丁目2－2）において実施します。

詳細については，受験票ダウンロード可能メール送付時に本人宛てに通知します。

医学科（地域枠）

医学科（地域枠）を志願する方は、インターネット出願登録時に「入試枠」で「地域枠」を選択してください。なお、「一般枠」と「地域枠」の併願はできません。

選 抜 期 日	令和6年11月13日（水）		
時 間	9：30～13：30（予定）		
科 目 等	面 接		
採点・評価基準	調査書、推薦書並びに志望理由書及び面接の結果により、総合的に評価します。 面接では、医療人としての適性を評価します。 配点は、次のとおりとします。		
	大学入学共通テスト	面 接	総合点
	950点	100点	1050点
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テスト、面接（調査書、推薦書、志望理由書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。 なお、面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがあります。 また、総合点が高点の場合は、面接の得点により順位を付けます。		

- ◎ 医学部試験場（山形市飯田西二丁目2-2）において実施します。
詳細については、受験票ダウンロード可能メール送付時に本人宛てに通知します。

看護学科

選 抜 期 日	令和7年2月1日（土）		
時 間	9：30～13：00（予定）		
科 目 等	面 接		
採点・評価基準	調査書、推薦書並びに志望理由書及び面接の結果により、総合的に評価します。 面接では、看護職者としての適性を評価します。 配点は、次のとおりとします。		
	大学入学共通テスト	面 接	総合点
	850点	200点	1050点
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テスト、面接（調査書、推薦書、志望理由書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。 なお、面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがあります。 また、総合点が高点の場合は、面接の得点により順位を付けます。		

- ◎ 医学部試験場（山形市飯田西二丁目2-2）において実施します。
詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

4 大学入学共通テストについて

受験を要する教科・科目及び配点

学科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
医学科	国 地歴	『国語』 『地理総合，地理探究』， 『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ⅱ』 『数学Ⅲ，数学Ⅳ，数学Ⅴ』 『物理』，『化学』，『生物』から2 『英語』（リスニングを含みます。），『ドイツ語』， 『フランス語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕	国 200(200) 地歴※100(100)
	公民 数		公民※100(100) 数 200(200)
	理 外		理 200(200) 外 200
	情報		〔リーディング(100) リスニング(100)〕 情報 50(100)
			計 950
看護学科	国 地歴	『国語』 『地理総合，地理探究』， 『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『地理総合／歴史総合／公共』 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 『数学Ⅰ，数学Ⅱ』，『数学Ⅲ』から1 『数学Ⅳ，数学Ⅴ，数学Ⅵ』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1 『英語』（リスニングを含みます。），『ドイツ語』， 『フランス語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科7科目〕	国 200(200) 地歴※100(100)
	公民 数		公民※100(100) 数 200(200)
	理		理 100(100)
	外 情報		外 200 〔リーディング(100) リスニング(100)〕 情報 50(100)
			計 850

- (注) 1 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」について，2科目受験した場合，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 2 「地理歴史」及び「公民」について，2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を用います。
- 3 『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合については，3つの出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，及び「公共」）のうち，いずれか2つを選択解答してください。
- 4 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合については，4つの出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち，いずれか2つを選択解答してください。
- 5 看護学科において，「理科」について，2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を用います。
- 6 配点欄の（ ）内の数字は，大学入学共通テストの素点を示します。
※印を付してある教科は選択科目を表します。
- 7 「情報」について，配点は大学入学共通テストの素点100点満点を50点満点へ換算します。
- 8 令和6年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。
- 9 旧教育課程履修者に対する経過措置については，「Ⅵ 令和7年度山形大学入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について（55ページ）」を参照してください。

4 受験者心得

- 1 「大学入学共通テスト受験票」及び「山形大学入学試験受験票」について
 - (1) 試験当日は、「大学入学共通テスト受験票」と「山形大学入学試験受験票」の2つを必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。ただし、医学部医学科受験者は、「山形大学入学試験受験票」のみ（以下同じ。）提示してください。
 - (2) 試験場では、常に2つの受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
 - (3) 試験当日、受験票（いずれか一方の受験票又は両受験票）を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きを取ってください。
 - (4) これらの受験票を紛失した場合は、速やかに志願学部の入試担当（20ページ参照）に申し出てください。
 - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着する等、各自の責任において必要な対応を取ってください。

（過去の事例）

平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。また、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により、新幹線等が運休になりました。前期日程試験までに完全復旧にはならず、試験当日に他県から移動した受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。

- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
 - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
 - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
 - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 9 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。アラーム機能をもつ電子機器類はアラームの設定を解除した上で電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為になります。
- 10 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 11 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 12 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 13 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 14 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。

- 15 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしていません。
- 16 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。
- また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

5 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発 表 日 時	発 表 方 法
令和7年2月12日(水) 11時	本学のホームページの「入試案内」に当該学部の合格者の大学受験番号を掲載します。

(注) 1 電話等による合否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者への合格通知書及び入学手続関係書類等の郵送は行いません。

合格者は、インターネット入学手続サイトから合格通知書及び入学手続関係書類等をダウンロードしてください。

なお、出身学校長には、選抜結果通知書を送付します。

6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和7年2月14日(金)から2月19日(水)まで(必着)(土・日曜日を除きます。)
受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

学 部	入 学 料
人文社会科学部, 地域教育文化学部, 医学部	282,000円

(注) 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

7 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。

学 部	授 業 料	納 付 方 法
人文社会科学部, 地域教育文化学部, 医学部	年額 535,800円(予定額)	「年1回払い」,「年2回払い」, 「年10回均等払い」及び 「年10回ボーナス併用払い」 から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

☆ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】

〔確認方法〕

下表は、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定である、あるいは、受験したことを確認するための表です。

人文社会科学部入学志願者については45ページ、地域教育学部入学志願者については47ページ、医学部入学志願者については51ページの「大学入学共通テストについて」を参照の上、必ず**入学志願者本人**が、下表の確認欄に○をつけて確認してください。

受験する予定のない、あるいは、受験していない科目が1科目でもある場合は、出願することができません。また、「外国語」で『英語』を選択した場合は、リーディングに加えて必ずリスニングを含みます。ただし、令和7年度大学入学共通テストの受験上の配慮として「リスニングの免除」が許可された者については、リーディングのみとし、リーディングの得点を外国語の指定した配点に換算して利用します。

人文社会科学部

学校推薦型選抜Ⅱ						人文社会科学部 人文社会科学科 人間文化コース															
教科	国語		地理歴史				公民		数学①	数学②	理科				外国語					情報	
科目	国語	地理探究	地理総合	歴史総合	世界史探究	歴史総合	公民、倫理	公民、政治・経済					英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語				
指定数	1	2※								0		0				1					0
確認欄																					

※「地理歴史」、「公民」（2科目選択）については『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

学校推薦型選抜Ⅱ							人文社会科学部 人文社会科学科 グローバル・スタディーズコース													
教科	国語	地理歴史					公民	数学①		数学②	理科			外国語				情報		
科目	国語	地理探究	地理総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	歴史総合、 歴史総合／公共	地理総合／ 公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共（再掲）	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、 数学B、 数学C				英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
指定数	1					1						0			1				0	
確認欄																				

地域教育文化学部

学校推薦型選抜Ⅱ							地域教育文化学部 地域教育文化学科 児童教育コース																			
教科	国語	地理歴史					公民			数学①		数学②	理科					外国語				情報				
科目	国語	地理探究	地理総合	日本史探究	歴史総合、 世界史探究	歴史総合／ 公共	公共、倫理	公共、政治・経済	合／公共（再掲）	地理総合／歴史総	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、 数学C	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	物理基礎／ 生物基礎	物理基礎／ 化学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
指定数	1					1					1		1				1						1			1
確認欄																										

医学部

学校推薦型選抜Ⅱ							医学部 医学科														
教科	国語		地理歴史				公民		数学①		数学②	理科				外国語				情報	
科目	国語	地理探究	地理総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	歴史総合、 世界史探究		公共、倫理	公共、政治・経済	数学Ⅰ、 数学A		数学C 数学Ⅱ、 数学B、		物理	化学	生物		英語	ドイツ語	フランス語		情報Ⅰ
指定数	1					1				1	1			2				1			1
確認欄																					

学校推薦型選抜Ⅱ							医学部 看護学科																	
教科	国語		地理歴史				公民			数学①		数学②	理科					外国語				情報		
科目	国語	地理探究	地理総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	歴史総合、 歴史総合／ 公共	地理総合／ 公共、倫理	公共、倫理	公共、政治・経済	合／公共（再掲）	地理総合／歴史総合	数学Ⅰ、 数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、 数学B、 数学C	生物基礎／ 地学基礎	物理基礎／ 化学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語		情報Ⅰ
指定数	1				1						1		1				1					1		1
確認欄																								

Ⅵ 令和7年度山形大学入学選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について

旧教育課程履修者については、大学入学共通テストにおいて経過措置科目として出題される「地理歴史」、「公民」、「数学」及び「情報」の4教科に関して選択を認めることとし、次のとおり経過措置により受験できるものとします。

新・旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等	上記以外の者 * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校(文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。)修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

は旧教育課程科目による出題科目

令和7年度山形大学入学選抜における学力検査実施教科・科目等

学部(学科、コース)名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用科目名	
人文社会科学部	人間文化コース	学校推薦型選抜Ⅱ	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』 『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』 『英語』(リスニングを含みます。), 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 から2	「地理歴史」、「公民」(2科目選択)については、新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせて選択解答することはできません。 なお、新教育課程の科目を選択する場合は、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。 また、旧教育課程の科目を選択する場合は、『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』のうち少なくとも1科目を含むこととします。
	グローバル・スタディーズコース	学校推薦型選抜Ⅱ	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』(※1) 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』 『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』 『英語』(リスニングを含みます。), 『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 から1 (3教科3科目)	「数学」について、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。

学部(学科, コース)名		学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用科目名
地域教育 文化学部 文化学科	児童教育コース	学校推薦型 選抜Ⅱ	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』(※1) 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』 『旧世界史A』, 『旧世界史B』, 『旧日本史A』, 『旧日本史B』, 『旧地理A』, 『旧地理B』 『旧現代社会』, 『旧倫理』, 『旧政治・経済』, 『旧倫理, 旧政治・経済』 『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』 } から1 『旧数学Ⅰ・旧数学A』, 『旧数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 } から1 『旧数学Ⅱ・旧数学B』, 『旧数学Ⅱ』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1 (※2) 『英語』(リスニングを含みます。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 } から1 『旧情報』
医学部	医学科	学校推薦型 選抜Ⅱ	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』 『旧世界史B』, 『旧日本史B』, 『旧地理B』, 『旧倫理, 旧政治・経済』 『数学Ⅰ, 数学A』 } から1 『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 } から1 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『物理』, 『化学』, 『生物』から2 『英語』(リスニングを含みます。), 『ドイツ語』, 『フランス語』から1 『情報Ⅰ』 } から1 『旧情報』
看護学科	看護学科	学校推薦型 選抜Ⅱ	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』(※1) 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』 『旧世界史A』, 『旧世界史B』, 『旧日本史A』, 『旧日本史B』, 『旧地理A』, 『旧地理B』 『旧現代社会』, 『旧倫理』, 『旧政治・経済』, 『旧倫理, 旧政治・経済』 『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』 } から1 『旧数学Ⅰ・旧数学A』, 『旧数学Ⅰ』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 } から1 『旧数学Ⅱ・旧数学B』, 『旧数学Ⅱ』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1 (※2) 『英語』(リスニングを含みます。), 『ドイツ語』, 『フランス語』から1 『情報Ⅰ』 } から1 『旧情報』

(6教科7科目)

(6教科8科目)

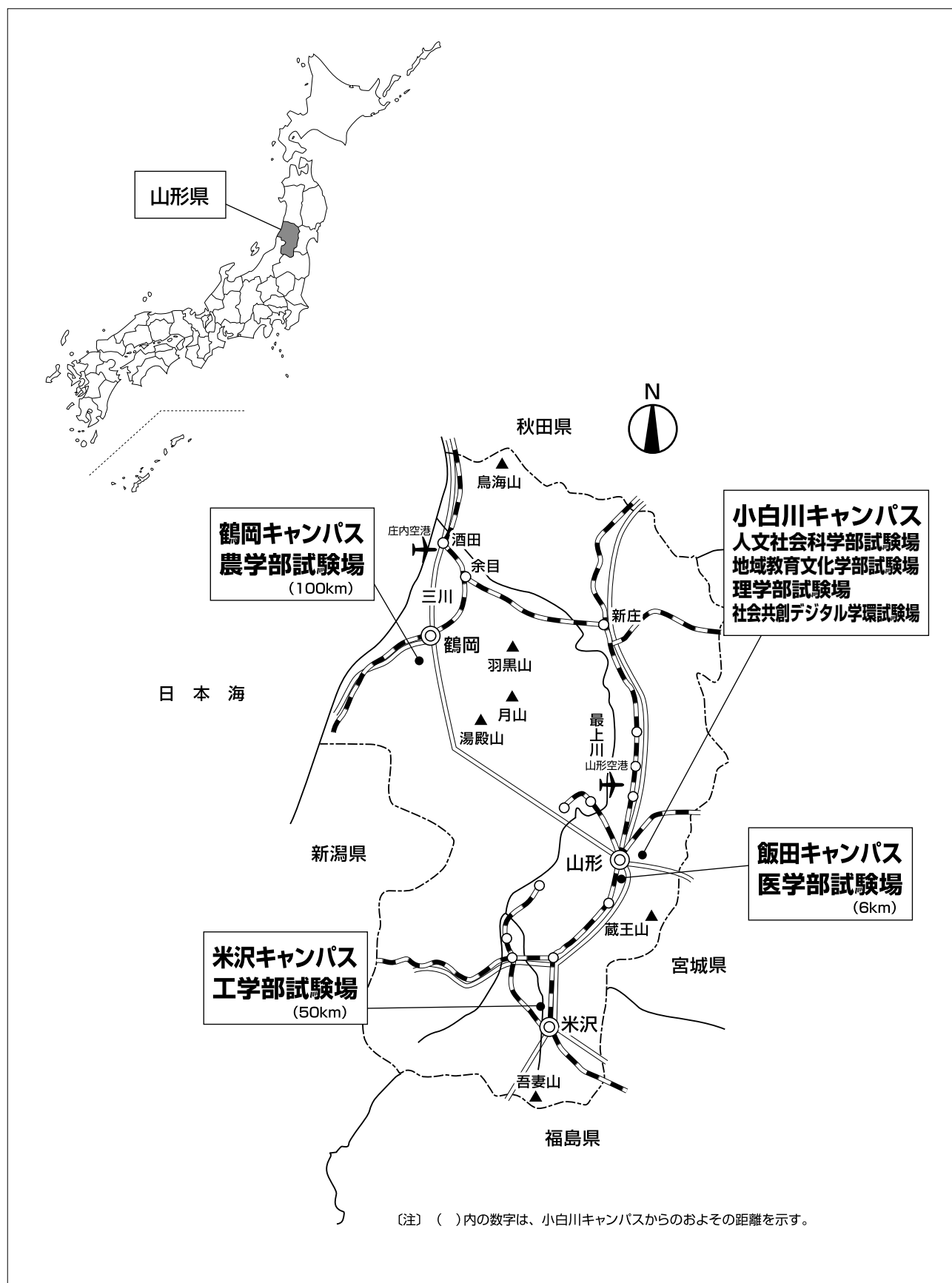
(6教科7科目)

(注意・事項)

科目 (大学入学共通テスト)は、 『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 『情報Ⅰ』 【旧教育課程科目】 『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』 『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』 『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』、『旧情報』 をそれぞれ1科目とします。	
--	--

※1	全学部等 『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合には、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」)のうち、いずれか2つを選択解答してください。
※2	全学部等 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合には、4つの出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答してください。

VII 山形大学試験場案内図



小白川キャンパス

人文社会科学部試験場，地域教育文化学部試験場，理学部試験場，社会共創デジタル学環試験場
山形市小白川町一丁目 4-12

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 山形駅東口から，東方へ約2.5km	約30分
市民バス (※)	・ J R 山形駅東口特設停留所から「東部エリア・東原町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約9分），徒歩1分 ・ J R 山形駅東口特設停留所から「東部エリア・小荷駄町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約19分），徒歩1分 ・ 時刻表等の詳細については，山形市公式ホームページでご確認ください。 (https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp)	東原町 先回りコース 約10分 ----- 小荷駄町 先回りコース 約20分
路線バス (山交バス) (※)	J R 山形駅東口停留所（5番乗り場）から「宝沢・関沢」行きバスで「小白川一丁目」下車（約11分），徒歩3分	約14分
	J R 山形駅東口停留所（4番乗り場）から「県庁前・県庁北口」行きバスで「南高前・山大入口」下車（約6分），徒歩7分	約13分
	J R 仙台駅前から「山形駅前」行き高速バスで「南高前」下車（約55分），徒歩7分	約62分



ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 山形駅東口から南方へ約4 km	約65分
路線バス (山交バス) (※)	J R 山形駅東口停留所（4番乗り場）から「大学病院・東海大山形高」行きバスで「大学病院」下車	約15分

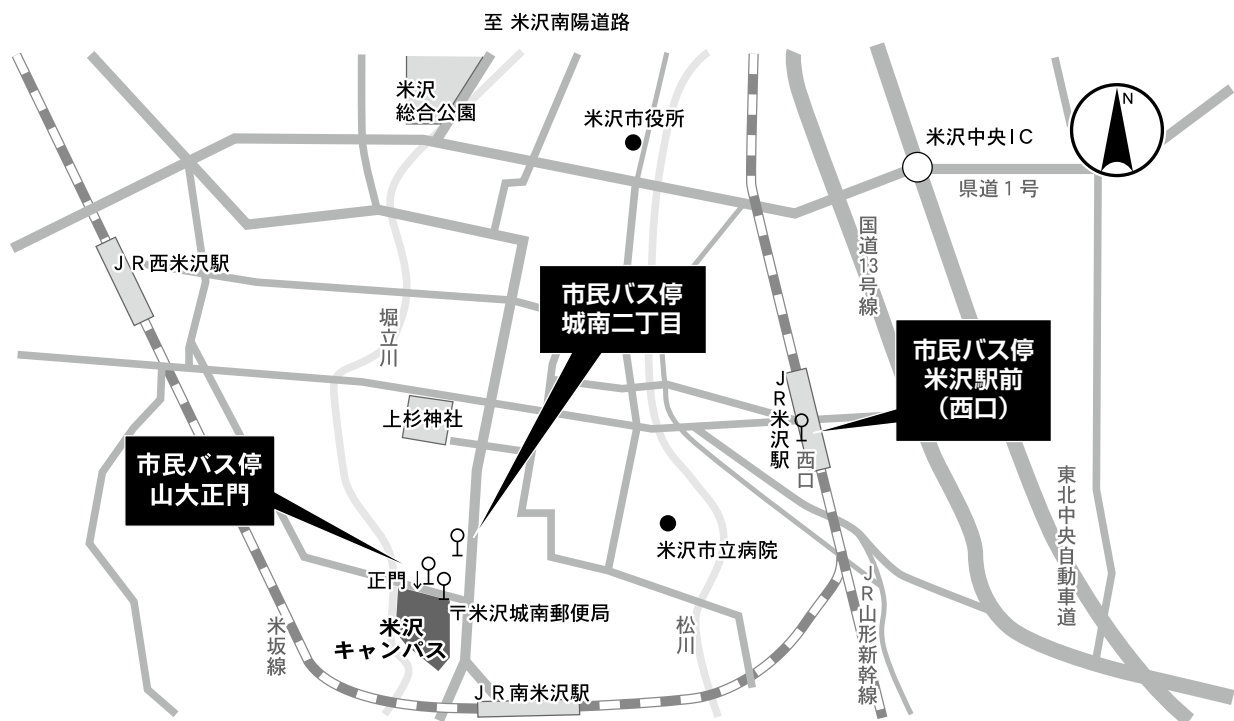
米沢キャンパス

工学部試験場

米沢市城南四丁目 3-16

※ J R 山形駅から J R 米沢駅までの所要時間は約45分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 米沢駅西口から南西へ約 3 km	約40分
	J R 南米沢駅出口から北西へ約500m	約 5 分
市民バス	J R 米沢駅前停留所から「市街地循環バス右回り（ヨネザアド号（青色のバス））」で「山大正門」下車 ※運行状況： https://www1.busnav.net/yonezawa/	約15分
	JR米沢駅前停留所から「学園都市線」で「城南二丁目」下車、徒歩 3 分	約30分



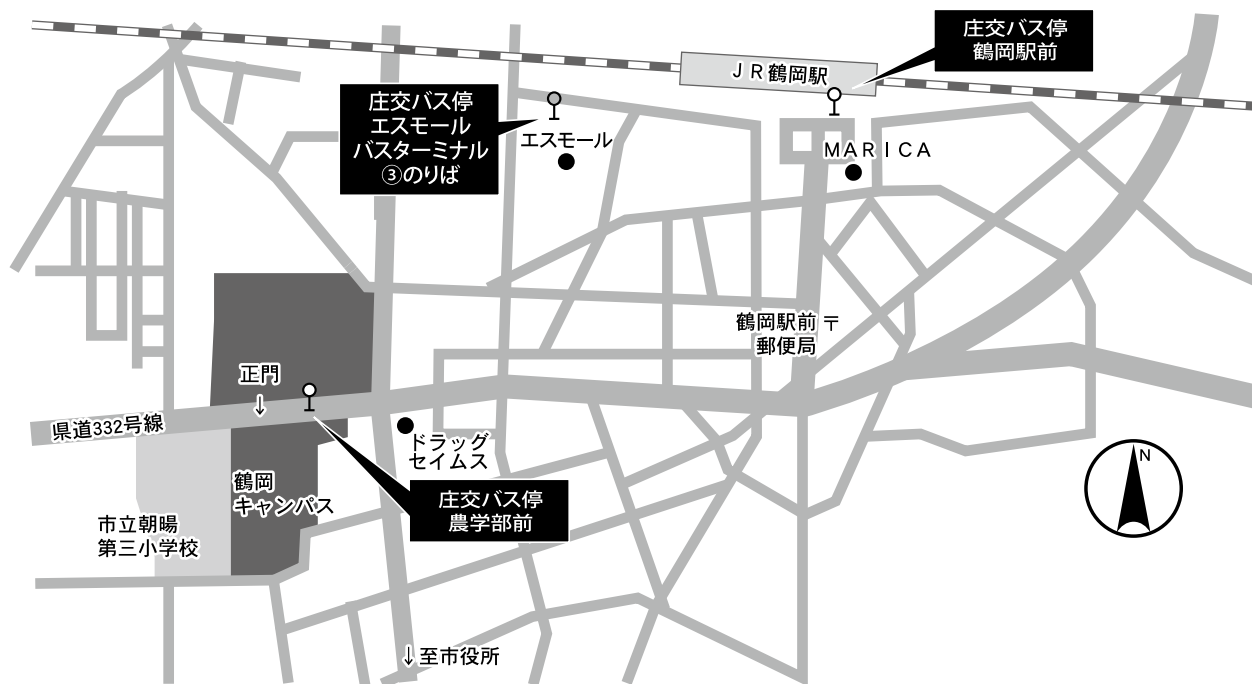
鶴岡キャンパス

農学部試験場

鶴岡市若葉町 1-23

※ J R 山形駅から鶴岡エスモールまでの所要時間は、高速バス約120分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 鶴岡駅から南西へ約 1 km	約15分
路線バス (庄内交通)	J R 鶴岡駅前から「鶴岡市内循環 B コース (左回り)」で「農学部前」下車 ※便数が少ないため、ご利用の際は運行状況をご確認ください。 運行状況： https://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html	約 6 分



見 本

学部ごとに様式が違いますので、出願後、受験票ダウンロード可能メールに記載の URL へアクセスし、ダウンロードしてください。

大学受験番号	
氏 名	

大学入学共通テスト成績請求票 はり付け台紙

推薦	令和7 共通テスト成績請求票 国公立推薦型選抜用
《注》 は り 付 け 欄	

【重要】

- 1 本要項 20 ページに記載の志願学部入試担当へ各学部が指定する日まで
必着でご提出ください。

※出願期間内に提出する必要はありません。

成績請求票がお手元に届きましたら、上記「はり付け欄」に糊付けし、ご提出ください。

- 2 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表(本要項54ページ)により、志願する学部等が指定する大学入学共通テストの教科・科目をすべて受験する予定である、あるいは、受験していることを再度、必ず確認してください。
本学で指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定がない、あるいは、受験していない場合は、出願することができません。
万一受験科目に不足がある場合は、至急志願学部入試担当までご連絡ください。

(令和7年度)

大学受験番号

※この欄は記入しないでください

山形大学 学校推薦型選抜
推 薦 書

令和 年 月 日

山形大学長 殿

学 校 名

学校長名

職印

下記の者は、貴大学の学校推薦型選抜の出願にふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。

記

志望学部等・学科・コース	学部・学環	学科	コース
選抜区分		入試枠	
生徒氏名	(平成 年 月 日生)		

推 薦 理 由

1. 人物

2. 学力的資質

3. 生活態度・課外活動・その他

推薦書記入上の注意

1. 記入に当たり、パソコンで作成いただくことが出来ます。様式は本学ホームページからダウンロードしてご使用ください。手書きで作成する場合は、必ず黒のボールペンもしくはスタンプを使用して記入してください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。
様式（文字や枠など）を変更（削除）しないでください。
2. 記入要領等
 - 1) 志望学部等・学科・コース
人文社会科学部、地域教育文化学部及び工学部昼間コース（化学・バイオ工学科又は情報・エレクトロニクス学科）の入学志望者のみ、志願するコース名を記入してください。
 - 2) 選抜区分
理学部理学科の入学志望者は、志望する選抜区分（数学・物理学・化学・生物学・地球科学のいずれか1つ）を記入してください。
 - 3) 入試枠
医学部医学科の入学志願者は、志願する入試枠（一般枠・地域枠）を記入してください。
 - 4) 推薦の理由
各事項とも具体的かつ正確に記入してください。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

人文社会科学部	人文社会科学科グローバル・スタディーズコース 1 人物 勉学への意欲、興味・関心の所在 ものごとに取り組む姿勢（特に積極性、協調性） 2 学力的資質 理解力、思考力、判断力 3 生活態度・課外活動・その他 学内外における活動実績や経験 人文社会科学科総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース 1 人物 当該コースに進学する目的 個性・活力 2 学力的資質 在学中の成績及び特殊な技能・資格等 3 生活態度・課外活動・その他 在学中の活動実績 社会に対する関心
地域教育文化学部	地域教育文化学科児童教育コース 1 人物 入学志願者の個性と当該コースに進学する目的、勉学への意欲、興味・関心の所在 2 学力的資質 理解力、論理的思考力、表現力についての所見とその理由 3 生活態度・課外活動・その他 在学中の学習・生活態度についての所見、学校内外での活動実績 地域教育文化学科文化創生コース 1 人物 入学志願者の個性や人柄、物事に取り組む姿勢等について 2 学力的資質 志望理由と関連した、理解力、思考力、表現力、演奏能力、運動能力、学習に取り組む姿勢等の所見とその理由 3 生活態度・課外活動・その他 志望理由と関連した、在学中の活動、地域における活動、部活動等の実技に関する実績や生活態度について
理学部	理学科 1 人物 入学志願者の個性とそれを示す具体的事例 2 学力的資質 (1) 理解力、思考力、表現力についての所見とその理由 (2) 自主性、持続性、計画性についての所見とその理由 3 生活態度・課外活動・その他 (1) 生活態度：協調性、積極性についての所見とその理由 (2) 課外活動：部活動、生徒会活動、ボランティア活動などの活動状況 (3) その他の活動状況
工学部	昼間コース、フレックスコース 1 人物 入学志願者の個性と工学への関心及び意欲について 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について 2 学力的資質 大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力について 3 生活態度・課外活動・その他 在学中の生活態度について 学校内外における活動状況について

農 学 部	食料生命環境学科 I 学校における評価をととして、大学における高等専門教育を受けるに足るかどうかに重点をおいて記入してください。 II 単に「まじめである」「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。 1 人物 人物、性格について本人の特性をよく表現するような事実 2 学力的資質 (1) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性あるいは理解力、創造的思考能力等について (2) 本人が大学において高等専門教育を受けるに足るとして推薦される「学業上の根拠」について (3) 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等について 3 生活態度・課外活動・その他 (1) 本人の趣味、特技、生活態度について (2) 卒業生については、卒業後の経験等
社会共創 デジタル学環	社会共創デジタル学環 1 人物 入学志願者の個性や人柄、物事に取り組む姿勢等（特に積極性、協調性）について 2 学力的資質 理解力、思考力、表現力についての所見とその理由 3 生活態度・課外活動・その他 在学中の学習・生活態度について 学内外での活動状況について

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

人文社会 科 学 部	人文社会科学科人間文化コース 1 人物 本人の勉学への意欲について 2 学力的資質 本人の学問的な能力（観察力、創造力、表現力等）について 3 生活態度・課外活動・その他 本人の学習及び生活態度（積極的、自主性等）、課外活動（ボランティア活動も含む）について 人文社会科学科グローバル・スタディーズコース 1 人物 興味・関心の所在、入学志願者の長所・特技 ものごとに取り組む姿勢（特に積極性、協調性） 2 学力的資質 本コースで扱う学問分野への意欲が察せられる具体的事例、推薦に値すると判断された資質など 3 生活態度・課外活動・その他 学内外における活動実績や経験
地域教育 文化学部	地域教育文化学科児童教育コース 1 人物 入学志願者の個性と当該コースに進学し、山形県の小学校教員となること及びそのための勉学への意欲、興味・関心の所在 2 学力的資質 理解力、論理的思考力、表現力についての所見とその理由 3 生活態度・課外活動・その他 在学中の学習・生活態度についての所見、学校内外での活動実績
医 学 部	医学科、看護学科 1 人物 性格（特に責任感、協調性）、奉仕的精神及び持続的向上心等について 2 学力的資質 創造力・探究心、理解力及び論理的思考力等について 3 生活態度・課外活動・その他 生活態度・クラブ等における活動について

志望理由書

(本人自筆で記入し、原本を提出してください。)

氏 名

志 願 す る 学 部 等	
学部・学環	
学科	
コース*	
☐ 数学 ☐ 物理学 ☐ 化学 ☐ 生物学 ☐ 地球科学 理学部理学科の入学志願者は、志願する選抜区分にチェックしてください。	
☐ 一般枠 ☐ 地域枠 医学部医学科の入学志願者は、志願する入試枠にチェックしてください。	

下記の理由により入学を希望いたします。

記

[illegible]

400

裏面に ☐ 続く (人文社会科学部人文社会科学科人間文化コース (学校推薦型選抜Ⅱ), グローバル・スタディーズコース, 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース, 理学部理学科, 社会共創デジタル学環のみ)

☐ 続かない

- 「志望理由書記入上の注意」をよく読み、学部等が指定する文字数を確認の上、裏面への記載の有無についてチェックしてください
- 必ず黒のボールペンを使用して記入してください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。
※には人文社会科学部人文社会科学科、地域教育文化学部地域教育文化学科及び工学部昼間コース（化学・バイオ工学科又は情報・エレクトロニクス学科）の入学志願者のみ、志願するコース名を記入してください。
- ※印の欄は、記入しないでください。
- A4タテ両面で印刷してください。

〈裏面〉

〈裏面を使用しない学部があります。〉

「志望理由書記入上の注意」をよく読み、学部等が指定する文字数を確認ください。

大学受験番号

[illegible]

800

1200

志望理由書記入上の注意

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

人文社会科学部	人文社会科学科グローバル・スタディーズコース 以下の項目に分けて、800字以上1,200字以内で志望理由を書いてください。 - なぜグローバル・スタディーズ（国際社会，異文化理解，外国語等）に興味を持ったか - 本コースを志望する理由 - 本コースに入学してやりたいこと - 海外体験（ホームステイ，語学研修），社会活動，ボランティア活動，クラブ活動等における実績など特筆すべきこと 人文社会科学科総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース 志望する理由を400字以内で具体的に記入してください。
地域教育文化学部	地域教育文化学科児童教育コース 志望する理由を400字以内で具体的に記入してください。 地域教育文化学科文化創生コース 1 志望理由書の表面に，志望する理由を400字以内で具体的に記入してください。 2 志望理由書の裏面に，コースで扱う学問分野や領域に関連して，自分でテーマを選び，そのテーマについて考えたり調べたりした具体的な成果を800字以内で記入してください。
理学部	理学科 以下の項目に分けて，800字以上1,200字以内で志望理由を記入してください。 - 山形大学理学部で学びたいこと，またその理由 - 大学に入学後，勉学以外で意欲的に取り組みたいこと 1，2を通じて自分をどのように成長させたいか - その他
工学部	昼間コース，フレックスコース 志望する理由を400字以内で具体的に記入してください。
農学部	食料生命環境学科 志望する理由を400字以内で具体的に記入してください。
社会共創デジタル学環	社会共創デジタル学環 以下の項目に分けて，1,200字以内で志望理由を記入してください。 - 本学環を志望する理由 - これまでの課外活動・社会活動等において特筆すべきこと

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

人文社会科学部	人文社会科学科人間文化コース 高校時代までに経験した研究や学習の成果をふまえ，800字以上1,200字以内で志望理由を書いてください。 人文社会科学科グローバル・スタディーズコース 以下の項目に分けて，1,000字以上1,200字以内で志望理由を書いてください。 - なぜグローバル・スタディーズ（国際社会，異文化理解，外国語等）に興味を持ったか - 本コースを志望する理由 - 本コースに入学してやりたいこと - 海外体験（ホームステイ，語学研修），社会活動，ボランティア活動，クラブ活動等における実績など特筆すべきこと - 自分の長所，特技
地域教育文化学部	地域教育文化学科児童教育コース 志望する理由を，将来どのような教員になりたいかを含め，400字以内で具体的に記入してください。
医学部	医学科（一般枠），看護学科 志望する理由を400字以内で具体的に記入してください。 医学科（地域枠） 志望する理由を，山形県の医療にどのように貢献したいかを含め，400字以内で具体的に記入してください。

大学受験番号

※

誓 約 書

山形大学長 殿

私は、山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース学校推薦型選抜Ⅱ（山形県小学校教員希望枠）に出願するにあたり、下記について誓約します。

記

山形大学入学後は、児童教育コースの特別教育プログラムを履修し、卒業年次に山形県公立学校教員選考試験を校種「小学校教諭（「小学校英語」を含む）」あるいは「特別支援学校小学部教諭」で受験することに同意した上で出願します。

令和 年 月 日

入学志願者（本人）住所

氏名

印

- 必ず黒のボールペンを使用して記入してください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。
- ※印の欄は、記入しないでください。
- A 4タテ片面で印刷してください。

誓約書

山形県知事 殿
山形大学長

私は、山形大学医学部学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」に出願するにあたり下記（１）について誓約し、入学を許可されたときは、下記（２）及び（３）について誓約します。

記

- （１）「山形県医師修学資金」の制度、キャリア形成プログラム及びキャリア形成卒前支援プランの内容を確認・同意した上で出願します。
- （２）令和７年度「山形県医師修学資金」の貸与を受け、医師免許取得後、同修学資金に基づくキャリア形成プログラムに従って、山形県内の指定する医療機関において必要な期間、義務履行を確約（勤務）します。
- （３）在学中は、キャリア形成卒前支援プランに基づき、山形県内定着に向けたキャリア形成に係る取組に参加及び協力します。

令和 年 月 日

入学志願者（本人）住所

氏名

印

令和 年 月 日

父母等住所

氏名

印

注１ ※印の欄は、記入しないでください。

注２ ２部印刷（裏面の「注意事項」を含めて両面印刷）し、裏面を必ず確認してください。
（２部のうち、１部は山形大学から山形県に提出します。）

山形大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」を 志願する場合の注意事項について

あなたは、表面に示す誓約事項を守っていただく必要がありますので、志願する場合は、必ず本要項48ページを確認の上、不明な点等がある場合は事前に下記までお問合せ願います。

お問合せ先

- 山形県医師修学資金及び同修学資金に基づくキャリア形成プログラム、キャリア形成卒前支援プランに関すること

山形県健康福祉部医療政策課
(TEL：(023) 630-3159)

- 卒業後の山形県内定着に向けたキャリア形成に係る取組に関すること
- 学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」全般に関すること

山形大学医学部入試担当
(TEL：(023) 628-5049)

〈表面〉

【人文社会科学部人文社会科学科総合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコース用】

大学受験番号

読書感想文記述用紙

(本人自筆で記入し、原本を提出してください。)

フリガナ

氏 名 _____

あなたが最近読んだ本のうち、社会的な問題に関する1冊の著者名とタイトルをあげ、それについてのあなたの感想を以下に述べてください。(1,000字以内)

著者名とタイトル ()

[illegible]

200

400

- 必ず黒のボールペンを使用して記入してください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。
- 印の欄は、記入しないでください。
- **A 4 タテ両面で印刷してください。**

[illegible]

600

800

1000

大学案内及び各学部のパンフレット請求方法

- ◎ 大学案内及び学部パンフレット（医学部・工学部）をご希望の方は以下により請求してください。
なお、請求される際は、テレメールが定める個人情報の取扱いについてご確認願います。

1 山形大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ（<https://www.yamagata-u.ac.jp>）「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメールによる請求ができます。

2 テレメールによる請求方法

テレメールのサイトにアクセスしてください。

 テレメール	インターネット	
	https://telemail.jp 資料請求用 2 次元コード	

資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金（送料含む）	発送開始時期（予定）
一般選抜学生募集要項	581002	料金（送料含）は資料等の重量により異なりますので、請求画面上で各々ご確認願います。	令和6年11月下旬
一般選抜学生募集要項+大学案内	541002		令和6年11月下旬
大学案内	561022		令和6年7月上旬
医学部案内	581042		令和6年8月上旬
工学部案内	561092		令和6年7月中旬

【料金の支払い方法】

資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料として、コンビニ支払い、スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay, au PAY）は118円、携帯キャリア払いとクレジットカード払い及びPayPayは30円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）もご利用になれます。

また、携帯キャリア払い、クレジットカード払い、コンビニ支払い及びPayPayは、1回分の手数料で複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

テレメールでの請求方法についてのお問合せは
テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102（9：30～18：00）まで

〔 入 試 情 報 〕

■山形大学ウェブサイト「入試案内」又は「受験生の方」

<https://www.yamagata-u.ac.jp>

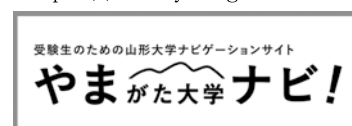
入学者選抜要項・学生募集要項や過去の入試結果，受験生へのお知らせなどを提供しています。



■受験生のための山形大学ナビゲーションサイト やまがた大学ナビ！

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>

大学概要やキャンパスライフ，本学教員による入試対策講座など，受験生に役立つ情報を紹介しています。



◎お問合せ先

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023) 628-4141
人文社会科学部に関すること	人文社会科学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023) 628-4207
地域教育文化学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023) 628-4310
理学部に関すること	理 学 部 入 試 担 当		(023) 628-4710
医学部に関すること	医 学 部 入 試 担 当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	(023) 628-5049
工学部に関すること	工 学 部 入 試 担 当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238) 26-3013
農学部に関すること	農 学 部 入 試 担 当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235) 28-2808
社会共創デジタル学環に関すること	社会共創デジタル学環入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023) 628-4500

(注) お問合せは，8：30～17：00(土・日曜日，国民の祝日に関する法律で定める休日，8月13日～8月16日，10月15日及び12月28日～1月5日を除く。)の時間帯でお願いします。

発行年月：令和6年7月

作 成：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL (023) 628-4141